

[原著論文]

## 1924年の第一回全国体育デーの活動状況に関する一考察

野口穂高

### 要 約

本論文は、文部省が実施した体育デーの活動状況を検討し、その実態を活動面から明らかにすることを目的とした。1924年の第一回体育デーは、全国で15,452もの関係団体により活動が展開されるなど、極めて規模の大きな体育行事であった。体育デー実施の背景には、内務省と文部省の権限争いがあり、運動競技の普及を目指す内務省に対し、文部省は、運動競技を徳性の涵養と結びつけて実践する「体育化」を強く主張していた。このため、体育デーの内容は、運動競技を「体育」的に実践する活動や「体育」の重要性を地域の住民に提唱する活動が主となっている。また、団体の種別ごとにみれば、地域との関係性が強い小学校や在地の教育関連団体においては、住民に向けて「体育思想」の普及を目指すことが中心になった。既に運動競技が盛んな高等・中等教育機関では、「体育思想」の普及に加えて、学内で実施されている運動競技を徳育と結びつけて「体育化」することや既成の運動団体を文部省の関連団体の傘下に組み込むことが目指されている。このように、文部省は体育デーにより、自らが統括する学校機関を「総動員」と共に、各地の教育関連団体や住民を巻き込んで「体育」活動を実施し、「体育思想」の普及とそのための組織づくりを目指したのであった。

キーワード：全国体育デー、体育振興策、文部省学校衛生課、明治神宮競技大会

### はじめに

本論文は、1924年に文部省が実施した「第一回全国体育デー」（以下、体育デーと略記する）の活動状況を検討し、体育デーの特質を活動面から明らかにするものである。

明治末期以降、国内では身体虚弱児童の増加や青年層の体位の低下が問題となり、その対策が急務とされていた<sup>1)</sup>。とりわけ、1924年は、日本のスポーツ及び体育教育において重要な転換期であると指摘されている<sup>2)</sup>。たとえば、岸野雄三は、国立体育研究所の設立、体育専門家たちによる各種団体組織の結成、体育行政機構の改善、神宮体育大会の開催、体育デーの制定など、その後の「体育に重要な意義をもつ問題が、この年にはじまった」として、1924年を注意すべき年であるとしている<sup>3)</sup>。

本論文では、この岸野の言う「重要な意義をもつ問題」の内、「体育デー」を取り上げ、その実際を明らかにする。体育デーとは、文部省が11月3日を全国一斉に体育的活動を実施する日と定め、各地の学校や関連団体に参加を呼び掛けたものであった。当日は全国の多数の団体により各種活動が展開されるなど、当時としても規模の大きな国家的行事である。しかし、全国的規模で実施され、一定の影響をもたらしたと考えられる体育デーであるが、これまで十分な研究上の蓄積がなされておらず、その活動の実態や特質は未解明の点が多い。特に、体育デーの活動内容について考察した研究は、管見の限りでは、入江克己の『昭和スポーツ史論』のみである<sup>4)</sup>。ただし、入江の研究でも、実施要項の検討を中心に、体育デーの趣旨と活動の概要が示されたのみであり、全国でどのような活動が実際に行われたのかは明確ではない<sup>5)</sup>。

一方で、体育デー研究の重要性を示唆する論稿もある。たとえば、先の岸野らの『近代日本学校体育史』では、体育デーを「体育を健康な国民運動にまで盛りあげようとする新しい計画」であり、「国民の自発に基く挙国的な事業」として位置づけている<sup>6)</sup>。また、同じく入江は、「国民を天皇制に従属させ」その体力を「生涯を通じて、休むことなく、絶へず」総動員する意図があったと批判的に捉え、「多くの青少年をアジア・太平洋戦争という侵略戦争へと駆り出し、多民族と国家を支配し、圧殺する一大国家装置」である明治神宮競技大会（以下、神宮競技大会と略記する）の趣旨を、全国に普及させるために実施された「全日本体操祭」と連動する実践と位置づけるなど、その社会的な影響の大きさが指摘されている<sup>7)</sup>。

また、坂上康弘や高嶋航の論稿<sup>8)</sup>のように、体育デーは、運動競技の主管省庁の座を巡る、文部省と内務省の対立の結果として実施されたものとする研究もある。後述のように、この権限争いは両省の運動競技に関する思想的な対立、さらには、運動競技の振興方法上の対立を含むものであった。このため、この時期の体育デーを検討することは、日本の近代体育政策の特質を明確にするためにも、欠くことのできない重要な課題と考える。そこで、本論文では、1924年に実施された第一回全国体育デーを対象に、全国でどの程度の活動が実施され、またその実際がいかなるものであったのかを明確にすると共に、学校段階や団体の種別による活動の相違を比較し、体育デーの特質を主に活動面から究明する。

本論文における、主要な史料としては、体育デーについての報告書である『大正十三年全国體育デー実施概況』（以下報告書と記す）<sup>9)</sup>及び東京都公文書館に所蔵されている「体育デーに関する件通牒」<sup>10)</sup>を使用する。なお、以下、本文内にて特に書名を示さず、ページ数のみを記載する場合は、本報告書からの引用とする。また、史料中の旧字体については、可能な限り新字体と変えて引用した。

## I 体育デーの概要及び実施の背景

はじめに、体育デーの概要を明らかにする。先に述べたように、文部省は、明治天皇の誕生日であった11月3日（後の明治節）を全国一斉に体育的活動を実施する日と定め、小学校を

はじめとする全国の関係機関にその実施を求めた。1924年の第一回全国体育デーにおいては、全国各地で多数の学校や団体が活動を実施し、文部省の推定では500万人から1千万人の国民が参加するなど、国家的規模の体育行事であった（7頁）。その後、第一回体育デーの成果を受けた文部省では、翌年度以降の体育デーの継続を決定し、1932年の第九回体育デーまで、合計9回にわたり実施されている。1933年以降については、文部省から通牒等を出すことは止め、各地域における自発的な実施を求め<sup>11)</sup>、全国的規模での体育デーは終了した<sup>12)</sup>。

次に、第一回体育デー実施の経緯及び背景を確認する。文部省は、1924年9月22日付で、文部次官の松浦鎮次郎の名において、全国に「全国體育デーニ関スル件通牒」を発している。この通牒には以下のように記載されている<sup>13)</sup>。

体育ニ関スル充分ナル理解並其ノ実行ノ普及ニ関シテハ既ニ御配慮ニ依リ漸次良好ノ域ニ向ヒツツアルハ同慶ノ至ニ存セラルル處今般帝国学校衛生会長ヨリ別紙写ノ通り稟請有之タルニ就テハ地方ノ実情ニ鑑ミ適宜ノ方法ニ依リ其ノ普及方可然御配慮相煩度

通牒によれば体育デーは文部省が発案したのではなく、帝国学校衛生会からの稟請に基づくものであった。稟請には以下のように、体育デー開催決定に至る経緯が示されている<sup>14)</sup>。

#### 稟請

大正十三年七月九日 帝国学校衛生会会長 三宅秀  
文部大臣 岡田良平殿  
全国体育デーニ関スル件

先般開催ノ第三回全国連合学校衛生会ニ於テ別紙要項ニヨリ全国体育デーヲ挙行致ス様決議相成リ其促進並ニ普及方ヲ本会ニ依頼有之候處本事業実行ニ関シテハ貴省ノ御盡力相仰度希望ニ有之候間可然御配慮相煩度此段及稟請候也

稟請によれば、1924年に開催された第三回全国連合学校衛生会で、体育デーの開催が決定されたのだという。そして、「別紙要項」を定め、その促進と普及は帝国学校衛生会に一任されたのであった。同会では、実行において文部省に協力を求め、文部省もこの稟請に基づき体育デーの挙行に協力したのである。ただし、帝国学校衛生会の運営は、文部省の学校衛生課長と学校衛生官が主導しており、同省学校衛生課の「出先機関的役割」を果たすものであった<sup>15)</sup>。このため、体育デーの開催は文部省学校衛生課の意向に基づいていたと考えられる。

先に述べたように、この時期の文部省は、広く社会で実施されている運動競技の主管省庁の座を巡り、内務省と対立を続けていた。明治末期以降、両省は、国民の健康増進や運動競技の振興に関心をもっており、それぞれの立場から政策を推進していたが、やがて両省間の権限争いへと発展したのである。この争いの最中、内務省は、1924年の5月の時点で、11月3日を生

心に神宮競技会を開催することを決定し、準備を進めていた<sup>16)</sup>。一方、体育デー実施における文部省の動きは内務省に遅れており、神宮競技大会の開催を知った文部省が、対抗措置として体育デーを計画し、実行に移したと考えられる。ただし、露骨に対抗手段を講じたとの非難を避けるため、帝国学校衛生会からの稟請の形式を取り、文部省はあくまでこれに協力するという立場としたと推察される。この点について『教育時論』の記事では、以下のように述べている<sup>17)</sup>。

〔前略＝引用者〕内務省が文部省を出し抜いて、十一月三日の明治神宮記念祭に全国から学生の選手を集めて各種運動競技を行い殆ど文部省の領域内に侵入したやうな企画をなすに對し、その腹癒せのため同じ日を選んで体育デーを催すことにしたことである。吾人は斯くの如き邪推には左袒することは出来ないが、しかし体育とか衛生とかの問題に関して、文部省側と内務省側とが近似頗る犬猿の間柄となつて相反目するといふ噂なり事實なりは決して否定されないものがあると思ふ。

この記事のように、当時としても、体育デーを内務省への対抗措置として認識する人々が一定程度存在したと考えられる。

ここで、内務省と文部省の対立において、文部省学校衛生課の官僚が、運動競技をどのような活動として定義し、またこれらをいかに振興するべきであると考えていたのかを確認しておきたい。大正末期の学校衛生課では、運動競技やスポーツという語ではなく、身体と精神の成長を目指す全ての行為を示す意味で「体育」「体育運動」という用語を使用している。この点について当時の学校衛生課長の北豊吉は、以下のように述べている<sup>18)</sup>。

体育とは如何なることをいふかに就きては人々の考へ区々にして頗る明瞭を欠くものあり。或は『体育とは運動に依つて身体の強健、機敏、忍耐等を養ふことなり』といひ、或は斯る運動に榮養、日光、空氣の利用等をも加へて考ふる場合もあり、或は『体育とはあらゆる手段方法を以て身体の發展を計ることなり』と言ふものあり。余は最後の定義に賛するものにして、教育の立場に於てあらゆる方法を以て身体の向上發展を計ることを体育といふべきものと思ふ。而して此處に言ふ身体とは単に肉体のみに限るとなく、肉体と離るべからざる精神をも含むことは言ふまでもなし。

そして、「凡そ教育を知育、徳育、体育の三分野に區別するが」「此際の体育も運動即ち体育にあらずして、前述の如き広義の体育ならざるべからず」としている。つまり、体育デーにおいて実施することが求められた「体育」的活動とは、単に運動競技を実施することのみではなく、「運動は勿論日光、空氣の利用、衣食住の適否、疲労、休息、清潔、疾病等の問題」など、身体に関する幅広い事象を対象とし、自己の心身の成長を図る活動全般を意味している。また、

運動を実施するにあたっては、身体の発達を目指すのみではなく、特に精神面での成長や徳育との関連付けを要求するものでもあった<sup>19)</sup>。すなわち、文部省における「体育」とは、運動競技を徳育と結びつけた広義の「体育」であり、「体育」の振興とは、社会一般で親しまれている運動や競技を、文部省が主張する「体育思想」に基づき、「正しく」実践されるように改善するという「体育化」を示すことに、ここでは留意が必要であろう。

大衆社会の広がりに応じて、運動競技が国民に普及する状況の中で、国民の保健衛生を司る内務省は、運動競技の普及政策を推進した。その政策においては、運動競技は健康の保持増進を目指すものであると定義され、運動競技の施設設備の拡充と運動を実施する機会の充実が重視されていた<sup>20)</sup>。これに対し、文部省では、運動競技における「教育的関与」の重要性、とりわけ身体の成長に加えて、精神の鍛練に重きを置く「体育」として、運動競技が実践される必要があることを強く主張したのであった。このため、体育デーの活動においても、「体育」的な思想を国民に普及することが、特に重要視されるようになっていく。

次に、第一回体育デーの目的と活動の概要について確認する。稟請に添付されている「別紙要項」によれば、その目的と概要は以下のとおりである<sup>21)</sup> せ。

- 一、体育ノ普及発達ヲ図ル為メ体育デーヲ設ク
- 二、体育デーハ十一月三日全国一斉ニ之レヲ行フモノトス、土地ノ状況ニ依リ各地方ニ於テハ二乃至三日間之ヲ行フコトアルヘシ
- 三、全国体育デーハ学校、学校衛生会、教育会、其他教育ニ関係アル団体ニ於テ主催スルヲ便トスヘシ
- 四、実施ニ際シテハ予メ左ノ準備ヲ行フ
  - イ、生徒児童及家庭ニ対シ体育デーノ趣旨ヲ周知セシムルコト
  - ロ、体育デーノ行事日程ヲ作製スルコト
- 五、実施事項ハ大要左ノ項目ニシテ学校内外ニ亘リ適宜之レヲ行フモノトス

また、「五」の「左ノ項目」としては「学校長、学校医、体育指導者其他体育ニ関係アル者ノ講話」「体育ニ関スル調査研究ノ発表」「校舎、校具、運動場等ノ清潔ニ関スルコト」「体育運動ニ関スルコト」「活動写真、ポスター、展覧会ニ依ル宣伝」「体育ニ関スル相談及び保護者会」「児童ノ衛生訓練並ニ衛生検査」「体育デーノ趣旨、宣伝ノ為メ当日花又ハマーク等社会ノ注目ヲ惹クベキ物ヲ公衆ニ配布スルコト」「其ノ他体育ニ関スルコト」の9項目が挙げられている。9項目の活動中、5項目が「体育」の普及に関わる内容であった。すなわち、講話、研究発表、活動写真・ポスター展覧会、相談会・保護者会、社会の注目を集めるような宣伝活動である。

それでは、以上のような要項に基づき、体育デーにおいて、実際にどのような活動が全国で展開されたのであろうか。次節では、この点について検討する。

## Ⅱ 全国における実施状況及び小学校における活動

はじめに、全国各地で、いかなる団体により、どの程度の実践が展開されたのか数量的に確認をしておく。文部省の体育デーについての報告書によれば、参加団体の種別及び団体数は表1のようであった。表1に示したように、全国で15,452もの関係団体により体育関連の行事が開催されるなど、極めて規模の大きな試みであったことが分かる。なお「新潟、埼玉、茨城、奈良、福島、山形、石川、岡山、山口、大分、熊本、鹿児島」の十二県並に樺太、関東庁、朝鮮等については、明確な数値が報告されなかったため、統計からは除かれている（2-3頁）こ

表1 各道府県における「体育デー」の実施主体数一覧

道府県	学校	校友会	青少年 団	教育会	保護者 会	学校 衛生会	官庁	市町村	軍人会	体育会	その他	合計
北海道	257	4	17	0	1	0	0	1	0	0	0	280
東京	452	7	38	4	1	0	0	8	4	1	0	515
京都	219	8	102	3	8	0	2	2	5	3	0	352
大阪	308	1	17	8	3	0	0	3	3	0	0	343
神奈川	222	0	23	1	1	1	0	4	4	0	0	256
兵庫	593	9	186	2	7	0	0	19	11	9	0	836
長崎	672	0	383	26	0	0	0	0	0	0	87	1,168
群馬	416	0	107	0	9	0	0	0	0	0	1	533
千葉	367	3	139	10	1	0	2	4	0	0	0	526
栃木	326	0	40	0	3	0	1	1	0	0	2	373
三重	424	0	218	13	1	2	0	29	14	3	0	704
愛知	555	2	66	10	8	1	0	7	9	1	2	661
静岡	549	0	114	2	0	1	0	0	0	0	0	666
山梨	192	1	123	5	0	1	1	0	0	19	1	343
滋賀	185	3	10	7	0	0	0	0	1	2	3	211
岐阜	454	5	143	12	2	0	1	3	14	7	1	642
長野	420	15	91	0	0	1	1	4	8	3	5	548
宮城	259	5	68	4	4	1	0	1	3	3	0	348
岩手	401	0	18	1	1	0	1	0	0	0	0	422
青森	441	0	18	1	0	1	0	1	3	1	0	466
秋田	244	0	51	1	0	0	1	2	0	3	0	302
福井	235	0	26	14	0	0	2	1	2	6	0	286
富山	200	0	30	0	1	0	0	4	1	0	0	236
鳥取	80	0	8	0	1	0	2	1	0	0	0	92
鳥根	342	0	36	0	7	0	0	0	0	2	16	403
広島	443	8	118	9	11	2	0	3	1	9	0	604
和歌山	312	0	1	0	3	0	0	1	0	2	0	319
徳島	391	6	77	24	7	0	2	5	5	4	0	521
香川	207	3	107	1	2	0	0	0	3	1	0	324
愛媛	501	0	44	3	3	0	0	1	1	0	0	553
高知	236	0	71	4	1	0	1	7	5	2	0	327
福岡	393	0	106	4	1	0	1	2	2	0	3	512
佐賀	185	0	94	0	2	0	1	4	6	1	0	293
宮崎	164	1	89	4	1	0	2	7	6	3	1	278
沖縄	115	0	82	1	5	0	0	4	2	0	0	209
合計	11,760	81	2,861	174	95	11	21	129	113	85	122	15,452

注1、文部大臣官房学校衛生課『大正十三年 全国體育デー実施概況』から作製。

注2、東京府の数値は、都公文書館所蔵の報告の分析結果とは一致しなかった。

注3、表中に名称のない地域は、正確な実数が不明であったため統計から除外されている。

注4、各合計の数値は報告書で示された数値と一致しない箇所がある。

とから、実際にはさらに多数の団体が参加していたと考えられる。

団体の種別としては、学校を中心とするものが11,760団体と最多であり、青少年団が2,861団体でこれに続いている。また、学校には大学が7校（公立2校、私立5校）、高等学校が11校（官立9校、公立1校、私立1校）、官立専門学校1校、実業専門学校22校、女子高等師範学校1校、盲学校1校、聾啞学校1校の計44校も含まれている（13頁）。その他、体育協会、官庁、市町村、教育会、保護者会、学校衛生会、在郷軍人会等、多様な団体が参加している。文部省は、社会教育の主管についても内務省と係争中であり、体育デーにより、社会教育の関連団体を動員したことは、同省が内務省との争いで優位に立つためにも意味があったと考えられる<sup>22)</sup>。

さらに、各道府県において、どのような活動がどの程度実践されたのかを示すと表2のようになる。表2に示したように、日本全国の、のべ37,962カ所において体育的な活動が展開されていた。講話や講演会が最も多く実践された活動であり、のべ11,060カ所で実施されている。以下、運動競技がのべ10,477カ所、その他の活動がのべ7,873カ所、宣伝に類する活動がのべ5,561カ所と続く。このように、全国的傾向としては、「体育」の重要性や体育デーの趣旨を普及させるための講話が最多であり、これに宣伝活動や展覧会、活動写真などを加えれば、その総数はさらに増加する。このことは、体育デーが、単に運動競技の機会充実を目指すのではなく、運動競技の「体育的」実践の必要性を国民に普及させる目的から実施されたことを示している。

具体的には、どのような活動が展開されたのだろうか。本節では、小学校における事例を確認する。報告書によれば、小学校における活動は「実に全国体育デー施設の中堅を為せるもの」であったという（43頁）。主な活動としては、「体育講演、運動競技会の開催」「校内の大清潔、身体検査、衛生検査、体育相談、体育研究」などが展開された。また、「体育保護者会を開催して、児童体育並に社会体育に関する講演会を開催」する例や「学校内の体育デーに、児童の父兄を参加せしめたる」例も多かった。さらに、「各種の団体、例令、青年団、処女会、教育会、在郷軍人会、市町村、新聞社、体育協会等と共同又はその後援を得て、全国体育デーの趣旨を宣伝し、学校を中心として社会体育の普及に力を致せしもの亦小学校であつた」という（44頁）。

各府県の具体的な事例を取り上げれば、埼玉県の所沢尋常高等小学校の場合、学校衛生を中心とした活動を行っていた（45-46頁）。まず、事前に、家庭及び児童に11月1日から3日に体育デーを施行すること、期間中に身体及び服装の検査をすることを伝え、身体を清潔にする方法や衣服の着方、帯の締め方等を指導している。そして、11月1日には全校児童を集めて訓話を行い、続いて身体と服装の検査、教室・校舎内の清掃を行った。翌2日にも身体と服装の検査を実施すると共に、学校医から衛生に関する訓話を聞いている。訓話においては、「健康の幸福なること」「健康を保つには衛生が大切であること、衛生上注意すべき要件」等の話をしている。そして、3日は午前8時より運動会を行い、学級リレー、町内リレー、70メートル走、

表2 各道府県別の活動状況一覧

道府県	講話	宣伝	展覧会 活動写真	運動競技	登山遠足	その他	合計
北海道	262	54	0	275	31	248	870
東京	200	54	12	268	74	3	611
京都	316	192	54	334	135	367	1,398
大阪	220	56	10	199	69	81	635
神奈川	201	114	23	167	17	168	690
兵庫	509	243	20	501	147	310	1,730
長崎	776	442	0	823	0	1,203	3,244
群馬	504	32	14	59	8	48	665
千葉	212	161	24	326	54	114	891
栃木	308	116	5	274	60	165	928
三重	345	265	25	337	197	212	1,381
愛知	480	222	44	518	61	373	1,698
静岡	417	185	37	489	24	231	1,383
山梨	165	147	4	251	32	71	670
滋賀	146	72	8	125	34	134	519
岐阜	321	191	23	310	106	151	1,102
長野	300	56	1	437	130	74	998
宮城	245	106	14	256	29	126	776
岩手	349	276	35	354	220	283	1,517
青森	568	76	8	152	6	163	973
福井	190	63	2	172	54	72	553
石川	356	385	9	221	0	139	1,110
富山	173	126	4	167	18	105	593
鳥取	71	50	6	60	26	30	243
鳥根	315	92	100	258	105	321	1,191
広島	356	140	14	346	100	214	1,170
山口	336	295	177	349	0	528	1,685
和歌山	194	57	9	177	45	48	530
徳島	300	140	28	310	54	211	1,043
香川	217	105	32	201	65	78	698
愛媛	448	129	23	316	43	528	1,487
高知	155	45	2	209	14	62	487
静岡	355	134	7	391	144	142	1,173
佐賀	155	77	10	141	35	80	498
熊本	335	584	9	380	0	614	1,922
宮崎	146	57	5	191	26	89	514
沖縄	94	20	8	90	13	79	304
大学等	20	2	1	43	8	8	82
合計	11,060	5,561	807	10,477	2,184	7,873	37,962

注1、文部大臣官房学校衛生課『大正十三年 全国體育デー実施概況』から作製。

注2、東京府の数値は、都公文書館所蔵の報告の分析結果とは一致しなかった。

注3、名称のない地域は正確な実数が不明のため文部省の統計から除外されている。

注4、大学等の欄は、大学、高等学校、専門学校等の数値である。

注5、各合計の数値は、報告書で示された数値と一致しない箇所がある。

400メートル走、跳び箱、幅跳び、綱引き、体操等を実施したのであった。

また、岐阜県上宝第二尋常高等小学校では、11月3日の午前中に学校と在郷軍人会、青年団、処女会と連携した運動会を開催している。併せて、学校児童職員や地域住民と合同で約350名が参加した「体育会」を実施し、参加者全員で体操を行ったり、「体育新競技（リレー、砲丸投げ、高跳び等）」を実施したりしている。さらに、3日の午後には、体育講演会と体育相談会を開催しており、講演会には、学校の児童に加えて、青年団員、処女会員、戸主、主婦

など300名が参加したという。この講演会では、「身体検査と体育」「壮丁検査と国民の体位」「体育競技解説」「体育器械に就て」等の講演や参加者による「本校下に於ける国民的体育実施方案」の協議が行われている。さらに、事前の告知として、体育デーの宣伝ポスターを300部印刷し、校区の各家庭に配布したことも報告されている（55-56頁）。なお、岐阜県の事例では、ポスターの実物が確認できなかったが、東京市立京華尋常夜学校では、図1のようなポスターを校区内に掲示したという<sup>23)</sup>。

とりわけ、岐阜県の事例のように校区内の地域住民と連携して体育デーを実施することは、文部省が重視する活動であった。例えば、体育デーにおける小学校の活動に、今後期待するものとして、報告書は以下のように述べている（44-45頁）。

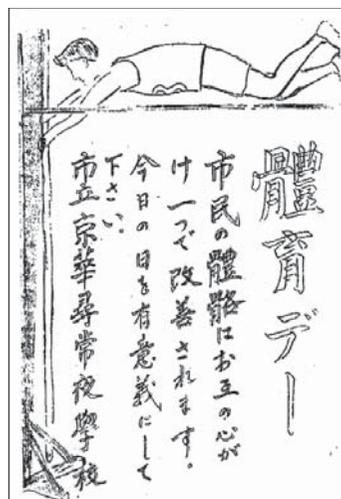


図1 京華尋常夜学校のポスター

昨年度第一回全国体育デーの実況に徴するに、各地共之等の反省考慮と、外部との協調連絡は、充分之れを認むることが出来たのであるが、その体育的使命の重大なるに鑑みる時は、校外諸団体との連繋は一層大切なる事柄である。或は体育保護者会を開催して、家庭教育の改善を企図するも興味多かるべく、或は体育に関する平素の研究発表、模範的運動競技会の開催等、何れも大に奨励すべきである。〔中略＝引用者〕小学校が其の地青年団、処女会、在郷軍人会、婦人会、其他あらゆる市町村内の諸団体と協力し、学校を中心として前記の体育的宣伝を実施し、又は市町村内の老若男女総ての人士を学校に招集し、運動に講演に体育デーの当日を最も有意義に過ぎしめたるが如きは、吾人の大に参考とすべき事柄である。

これらの記述からも分かるように、各地の小学校は、体育デーにおいて、地域の教育関連団体と連携協力しながら、学区内の多数の地域住民を集め、文部省が主張する「体育思想」を普及させることを期待されていた。そして、その実現のために「体育行進」「連合体操」「連合運動会」など、人々が共に「体育」的活動に参加し、これを体験する機会を創出することや「体育標語の撒布」「体育花の日会」「体育活動写真界」等の、「体育思想」普及の一助となる活動の実施が求められていたのであった。とりわけ、小学校はその校数も多く、地域と密着した教育機関であるため、「体育思想」の全国的な普及を目指すうえで「体育デー施設の中堅」としての役割を果たすことを期待されていたといえる。それでは、他の学校段階やその他の団体では、どのような活動が展開されていたのであろうか。次節では、この点について考察する。

### Ⅲ 高等・中等教育機関、その他の関係団体における活動

本節では、高等・中等教育機関や各種団体において実践された活動を考察する。まず、大学や専門学校等の高等教育機関における体育デーの活動をみれば、「陸上競技、野球、蹴球、武道、角力、バスケットボール、バレーボール、マラソン等の運動競技会」の実施が中心となっており、全国の43校で何らかの運動競技会が行われている（16頁）。ただし、単に運動会や競技会を実施するのみでなく、運動会に併せて、もしくは単独で体育デーの趣旨や「体育の国家的使命」について講話を行う学校が多かった点を報告書は強調している。

明治以降、日本における運動競技は、主として高等教育機関を中心に発達したが、大正期には一部の運動能力に優れた人物を中心に競技を行う「選手主義」や勝敗に重きをおく「勝利至上主義」が目立つようになっていた。内務省による神宮競技大会も、全国から優れた選手を集めて競技会を実施するものであった。一方、これに対抗する文部省の体育デーにおいては、「運動競技を一部の選手の専有物」から、広く「国民化」「社会化」「体育化」することを、その目標に掲げていた（2頁）。このため、高等教育機関においても、従来の「選手主義」の傾向が強い運動競技を改め、勝敗よりも精神的な修養を重視する「体育」の実践が求められていたのである。この点について報告書では、「運動会の開会に際し」学校長が臨席して、「体育デーの趣旨と体育の国家的使命とを講話」し、「多くの学校生徒をして、国民体育の重要な所以を反省せしめ」「大会を真面目に終了せんことを訓示した」ことを述べている。さらに、文部省は大学等が体育デーにおいて実施することが期待される活動について、以下のように示している（16-17頁）。

吾人は国民的指導の地位にある高等教育の窓から致さるる体育の社会的宣伝は、その効果の特に大なるものあるを思うて、体育デー当日に於るこの種施設の一層盛況ならむことを希望するものである。尚学校内に於ては当日の運動競技会でのみでなく、進んで体育運動を一般の学生生徒に普及せしめて、不断に之れを実行せんとする団体又は倶楽部の如きものを組織し、以て体育デーの挙を記念するが如きは、高等教育に於ける体育の現状に鑑み、最も適切なる施設であると信じる。

この記述からは、高等教育機関においても「体育」の社会宣伝の実践が求められていたといえる。特に、「国民的指導の地位にある高等教育」という表現からは、高等教育機関を通じて「体育」の重要性を訴えることで、文部省の主張の正当性を補強しようとする意識も窺える。このような活動としては、神戸高等工業学校の生徒らが数台の自動車に分乗し、「路傍演説」をした事例が記載されているが、その他の学校の事例紹介は特になく、文部省が期待する活動が十分に実質化されてない状況にあったとも考えられる。また、運動競技の選手のみでなく、一般の学生生徒が体育運動に参加できる団体やクラブを結成することを求めるなど、これまでの選

手主義を転換し、全ての学生が「体育」を行うことが可能な組織づくりが目指されていた(18-19頁)。

次に、中等教育段階における活動を確認する。全国的な状況としては、運動競技会、体育講演会等の実施が、その中心を占めたという。また、体育デーの当日に、体育に関する研究調査、体育統計の作成を実施する例もあった。その他、特色的な事例としては、女子師範学校や高等女学校において、育児相談や「児童診査」「体格表彰」「母性表彰」なども試みられた。さらに、武道の大会や登山なども多数実施されている(21-23頁)。

具体的な実践としては、秋田県師範学校において、長距離走に関連し、「運動の身体及精神に及ぼす影響を調査研究」し、その成果を発表した事例が確認できる(23-25頁)。また、広島県三原女子師範学校では、幼児愛護会を開催し、学校内に遊技場を設置し、生後7か月から4歳までの乳幼児を約670名集め、全校生徒が監督しながら一緒に遊戯をしたという。また、同校では、母親向けの『育児の栞』を作成し配布したり、育児の参考資料を集めた展覧会の開催や小児科医による育児相談会を開催したりもした。さらに、幼児の発育状態を「審査」し、発育の優良な児童に賞状や賞品を寄贈したり、「多数健全なる子女を育成した母を調査」し、その表彰をしたりもしたという(25-28頁)。その他、北海道庁立名寄中学校では「町有志、各新聞記者、生徒父兄、保証人、当町在住体育方面有志及一般人士参列の上」体育の講話を行っている(36頁)。

体育デーにおいて、中等教育機関に対し期待する点は、次のように述べられている(22頁)。

中等学校は、各府県共その地方有数の地に散在し居るのであるから、之等が中心となつて国民体育、社会体育の進展に参与することは、啻に学校に於ける生徒体育の向上を期するのみではなく、その社会的に影響する所、頗る大なるものあるを思はねばならぬ。〔中略＝引用者〕来たるべき第二回全国体育デーの実施に際しては、時に街頭に出て、巷間に立ち、各種の体育的宣伝を行ふことの必要を痛感するものである。

このように、中等教育機関においても、運動の「体育的」実行に加えて「体育的宣伝」の実施が重視されていた。特に、これらの学校は、各府県の中心地に位置する場合が多いため、地方都市における「体育」の隆盛に影響を与えるものと認識されたのであった。また、校内における「体育普及」のため、各校友会・運動部等は、生徒の全てを「平素何れかの体育運動に参加せしめ、教育的指導の下に不断に実行せん」とする方法や、新たな組織づくりをするようにも求められている。とりわけ、体育デーを記念して一部の学校の校友会や運動部が、文部省と関係の強い「日本体育連盟」に加盟し「絶えず、普く、正しくをモットー」として、連盟の目指す「体育の国民的普及、不断の実行及び教育的なる」を目標に活動を開始した模範的な事例があったことを強調している点が特色的である(22頁)。この「絶えず、普く、正しく」の実現こそ、体育デーにおいて文部省が重視するものであった。それは、運動競技は単に健康のた

めに実施されるべきではなく、精神的鍛練をも含む教育的行為であるべきという文部省の「体育思想」に基づき、運動競技が「正しく」実践されることを目指すものであった。そして、学校や団体は全国「普く」、この「体育思想」を共有し、正しい運動競技を「絶えず」実践することを求められたのである。文部省は、そのために、既成の校友会や運動部を同省の理想に沿う団体に変質させるとともに、同省の影響下にある日本体育連盟の傘下に組み込むことを企図するのであった。

次に、その他の団体における活動を検討する。その他の団体としては、官庁、市町村、青少年団、体育協会、学校衛生会などが該当する。これらの団体による活動としては、千葉県学校衛生会が、中学生を対象に「模範的運動会」を開催し、運動競技の正しい実施法を指導した事例が示されている。また、津市においては、各学校、教育会、青年団等が連携し、「宣伝ポスター」「陸上競技大会」「自強術実演会」「女子部競技大会」「花の日会」「体育奨励展覧会」「『体育奨励趣旨書』及び『栄養と育児の栞』の配布」「訓話」「巡回マラソン」「児童保護者会」「体育奨励活動写真大会」など幅広い活動を実践した。さらに、愛媛県喜多郡では、「喜多郡全町村巡り競争」を実施している。これは、各町村の代表者1組5名（15歳から25歳）を選出し、どの組が一番早く喜多郡内の全町村の役場を回れるかを競うものであった。この競争では、徒歩の他、自転車、渡船の使用も許可されている。参加団体は14団体であり、盛況であったという。また、町村民の注目を得るためか、葉書による予測投票も実施している点が特徴的である（68-84頁）。

その他、佐賀市において県知事を中心とする「佐賀市官民連合団」により合同運動会が実施され、714名が参加した事例や朝鮮総督府、関東庁、樺太庁における合同運動会や体育に関する宣伝の事例が紹介されている（85-88頁）。以上の事例のように、全国各地で、様々な団体により大規模な体育行事が開催されていたことが分かる。各教育機関における実践と同じく、これらの規模の大きな諸活動は、運動競技の普及に一定の効果を挙げるのみならず、地域住民の注目を集め、民衆に「体育思想」を普及させる効果も期待されていた。また、これらの団体に対し、今後期待する点について、文部省は以下のように述べている（66頁）。

純真なる青年男女が印象深き十一月三日、明治大帝の御聖徳を御追慕申上げつつ、静かに国家の現況と国運の前途を偲び、敬虔なる態度を以て、この記念すべき体育デーの盛儀に参加することが、如何に青年修養の上に、偉大なる効果を齎したことであらう。体育の目的を単なる身体保健の問題とせず、寧ろ、第一義を国民精神の涵養にありとし、心身の円満なる発達と剛健質実の気風を育成せんとする吾人の立場として、叙上各地に於ける団体の施設中、特に青少年団の施設に対し、囑望する所、甚だ大なるものがある。挙町、挙村、協力一致の運動競技会が開催せられ、老若男女、一堂に会し、各々その所を得て、極めて意義ある体育デーの当日を終了せし時、其處には町村自治の進歩があり、教育の改善があり、産業の発達が認められ、体育を中心として、民心の統一と、地方の改良が期待せ

らるるのである。

そして、理想的な活動としては、「一般社会に対し、体育の一大宣伝を試みるが如き、学校、青年男女の一大連合運動会の開催、又は官民合同の一大競技会、体育講演会の主催」などを挙げている。これらの事例や要望からも分かるように、文部省は、体育デーを通じて「全国の諸都市、諸地方に於て」「体育を介し、運動場裡に於て、能く官民一致団体の融和、自治の向上」を実現することを目指したのであった(66頁)。それは、体育的活動を通じて、全国の学校や団体、さらに地域住民が協力的な関係性を構築し、文部省が理想とする「体育思想」を共有し、その実現に向かって協働することを目標にするものであった。そしてその先には、体育を通じて国民の「思想善導」を図る「国家的精神の統一」を文部省は見据えていた(67頁)。

山本悠三によれば、この時期に国民の「思想善導」を推進していた文部省は、そのための有効な手段である社会教育の管轄を巡り、内務省と争っていた。しかし、地方の行政機構を把握していた内務省に対し、文部省は同省の主導の「国民動員運動」の推進を目指しつつも、十分な成果が挙げられなかったという<sup>24)</sup>。山本が指摘するように、文部省の地方の社会教育に対する影響力は弱く、その実質化は困難であった。一方で、学生スポーツなど、学校を中心に発展を遂げた「社会体育」分野においては、文部省は内務省に対して優位を保つことができた。このため、地方行政機構に代わる「社会体育」の実行機関として、全国の学校や教育関係団体が、その役割を果たすことが期待されたといえる。文部省は体育デーにより、自らが統括する、あらゆる学校機関を「総動員」とするとともに、各地の教育関連団体や地域住民を巻き込んだ体育活動を展開し、「体育思想」の普及とそのための組織づくりを企図したのであった。

さて、ここまで、全国的な実施状況を確認したが、最後に東京府の事例を付して、地域的な状況について簡単に示しておきたい。府内で実践された活動を表にすると本文末の表3のようになる。東京府では470の実施主体による活動報告が確認できた。なお、先の表1で示したように、報告書の東京府の項では515の団体から活動報告があり、この数値は両史料で一致していない<sup>25)</sup>。主な実施主体としては、学校、校友会、保護者会、教育会、青年団・処女会、区市町村、在郷軍人会等であり、その団体数は表1に示したように、学校が452校と最も多く、その他、青少年団が38団体、8つの市町村、その他と続いている。他の道府県では、青少年団の参加も多いが、東京では学校数に比較して、その参加は少ない状況にあったといえる。この点から考えると、社会的広がりをもって体育デーを実施することを求めた文部省の意図は十分に実現していなかったと考えられる。一方で、体育デーに参加した人数は、数字が明確な活動の合計だけでも、のべ42万3,590人であるなど、かなりの人数が参加しており、その影響の大きさも窺える。

次に、体育デーの活動内容の種別について検討したい。先の表1によれば、東京府で実施された活動の種別と実施団体数は、運動競技の実施が268団体、講話の実施が200団体、登山遠足が74団体、宣伝活動が54団体、展覧会、活動写真が12団体、その他が3団体、合計611団

体であった。一方、表3で、最も多いのは運動会・競技大会もしくは何らかの運動競技の実施であり、その数はのべ368団体と、文部省の報告書とは著しく異なっている<sup>26)</sup>。文部省は、宣伝活動を重視していたが、東京府の史料に従えば、府内では運動競技の実施が多数を占めており、運動競技の「体育化」が十分に実質化されていなかったと考えられる。これらの地域的情報から読み取れるように、全国的規模で関係団体を動員し、「体育」の普及を目指した文部省であったが、第一回体育デーの活動状況から考えるに、その趣旨は十分に徹底されなかった点も窺える。この点についての考察は、さらなる検討が必要のため、今後の課題としたい。

## おわりに

本論文は、文部省が実施した体育デーの活動状況を検討し、その実態を活動面から明らかにすることを目的とした。本論文の要点を示すと以下ようになる。

1924年の第一回体育デーは、全国で15,452もの関係団体により、のべ37,962カ所において体育関連の活動が展開されるなど、極めて大規模な体育行事であったことが分かった。活動の中核を担ったのは各種の学校であり、総団体数の内11,760団体が学校を中心とするものである。体育デーが実施された背景には、内務省と文部省の権限争いがあった。運動競技の普及を目指す内務省に対し、文部省では、これらの運動競技を徳性の涵養と結びつけて実践する「体育化」を目標とした。このため、各団体において展開された活動の内容は、運動競技を「体育」的に実践したり、「体育」の重要性を地域の住民に直接的に訴えたりするものが主となっていたことが明確になった。

また、各団体の種別から、その活動を検討した結果、地域との関係性が強い小学校においては、特に、地域住民に対して「体育思想」の普及をすることに主眼が置かれ、そのための実践が展開されていた。各地の関係団体においても、これら小学校と連携しながら「体育」の普及を目指す宣伝活動を展開することや、多数の地域住民を参加させ、大規模な「体育」行事を実施することを期待されている。そして、これらの諸活動を通じて、各学校と関係団体、地域社会の相互的な関係性を強化することも目指されていた。その他、既に運動競技が盛んになっている高等・中等教育機関では、「体育」の普及に加えて、学内で実施されている運動競技を徳育と結びつけて「体育化」することが要求された。さらに、既成の運動競技に関する団体や「体育」を実行するための団体に変質させるとともに、文部省と関係の深い日本体育連盟の傘下に組み込むことも企図されているなど、学校段階により、期待される活動に相違もあった。

このように、文部省による体育デーは、同省が主張する「体育思想」を地域住民に普及させると共に、同省が統括する各種の学校を「総動員」し、地域の教育関連団体や地域住民を巻き込んだ体育活動を展開することで、学校や各関連団体、地域住民相互の関係性を強化し、「体育思想」の普及に向けた、新たな組織づくりが意図されていた点が、その活動上の特徴であるといえる。

1924年の第一回全国体育デーの活動状況に関する一考察

一方で、東京府の事例のように、文部省が期待する活動が十分に実施されていない事例も確認できた。文部省の理想が、どの程度実質化したのかについては、さらなる史料収集と検討を進め、個別事例の考察を通じて明らかにしたい。

表3 東京府内各実施団体における「体育デー」活動内容一覧

区分	番号	主催者	日時	参加人数	形態	実施内容	備考
市立中学校・実業学校等	1	第二東京市立中学校	3日	193	単	講和、遠足	生徒に対して体育の重要性を講話。また、生徒各自の健康状況及び体育の方法に関して問題点を検討し、個人的指導の資料とする。明治神宮参拝後遠足。
	2	京橋商業学校	3日	59	単	遠足、運動会	玉川遊園地へ遠足、遊園地で運動会を開催。
	3	東京市立高等女学校	4日	195	単	講話	体育に関する講話を実施。
			5日	195	単	運動	陸上競技会。
	4	東京市立第五実業学校	3日	100	単	講話	体育に関する講話。
		第五実業学校校友会	6日	54	単	遠足	武州物見山方面へ遠足。元来、春秋2回の修学旅行を実施していたが、今期は体育デーと関連付けたので有意義であった。
	5	東京市立第六実業学校	4日	108	単	遠足	午後6時出発、小出水川(小名木川?)、大島を經由して荒木放水路(荒川か?)を見学、帰路は小松川町で電車で乗車し終点の錦糸掘で解散。約3里を徒歩で移動する。
	6	神田実科女学校	5日	不明	合	宣伝	運動奨励宣伝のしおりを配布。神田区各小学校と合同で実施。
			6日	182	合	運動会	船橋海□園にて、一橋高等小学校と合同で開催。
	7	麻布商工実務学校	4日	49	単	講話	診療医を招き、体育に関する講話を実施。
8	牛込実務女学校	3日	185	単	講話	体育に関する講話。学科中には体育科はないが、通常の授業時にも休憩時間を20分延長し、毎日全校体操を実施。	
9	牛込商業実務学校	4日	42	単	講話、運動	体育及び疾病に関する講話。運動は体操及び遊戯を実施。	
10	第三実業学校	2日	25	単	講話、遠足	講話は、前週の修身の時間で実施。参加者は甲10名、乙15名。甲組は田端方面(判読困難)、乙組は横浜湾港の見学を目的にする。「本校ハ体育上ノ施設又ハ設備ヲ欠ケテ以テ其実施不十分タルヲ免レシ生徒昼間夫々ノ業務ニ従フヲ以テ休日ヲ選ムノ必要アリ依テ二日(第一日曜日)ニ之ヲ施行セリ。」	
市営特殊小学校及び夜学校等	11	鉄砲洲尋常夜学校	7日	40	単	遠足	目的地で徒競走、角力、器械体操、鬼ゴッコ等を実施
	12	鮫橋尋常小学校	1日	1,129	単	講話、運動	体育衛生講話。全児童で一斉市民体操。分教場及び仮教室はそれぞれの学校で挙行。
			2日	318	単	見学	明治神宮外苑にて相撲、柔道、剣舞等を見学。4年生以上の有志が参加。
			3日	374	単		
			4日	1,127	単	講話、運動	学校医による体育衛生講話。全児童で一斉市民体操。分教場及び仮教室はそれぞれの学校で挙行。
			5日	1,108	単	講話、遠足	訓導による体育衛生講話。代々木練兵場へ遠足を行い、目的地で綱引、遊戯、市民体操を実施。分教場及び仮教室も同時に開催。
			6日	1,129	単	運動、見学	運動は全児童で市民体操を実施。神宮外苑競技大会を見学する(4年生以上の一部生)。
			7日	1,128	単	運動、見学	運動は全児童で市民体操を実施。神宮外苑競技大会を見学する(5年生以上の二部生)。
	13	林町尋常小学校	4日	950	単	遠足、運動	往復徒歩で移動し、飛鳥山へ遠足。遠足先で徒競走、綱引、体操、各級選手リレーを実施。
	14	菊川尋常小学校	4日	708	単	講話	体育に関する学校長の講話
			22	単	矯正体操	脊柱彎曲児童に対し矯正体操。今後も毎日授業前に当該児童に対し矯正体操を行う。	
	15	玉姫尋常小学校	4日	916	単	運動会、講演	徒競走、メジシンボール、綱引、帽子取、ボール送、方形デットボール、ダンス、職員徒競走等を行う。午前中運動会、午後は講演。夜は夜学部講演。
	16	万年尋常小学校	4日	732	単	講話、記念競技会	体育デーに関する講話。4年生以上は競技会を上野寛永寺仮教室内で午前10時から午後3時まで開催。連合体操、徒歩競争、フットボール使用競技、綱引、リレー、遊戯等。
17	芝浦尋常小学校	4日	546	単	講話	体育に関する講話、体育デーの趣旨説明。体育奨励のため永続的施設をなし、今後実施する予定。競技会は前月に芝離宮バラック火災があり対応に追われたため延期。	
18	三笠尋常小学校	1日	50	単	講話	労働者アル故昼間時間ヲトル能ハズ。三笠青年分団員が参加。午後六時ヨリ集合体育講話会。	
		2日	55	単	遠足	千葉県市川市まで夜間部児童5・6年生及び補習科生が遠足。	
19	扇橋尋常夜学校	4日	131	単	講話、宣伝	体育に関する講話。宣伝ビラの配布。	

## 『論叢』玉川大学教育学部紀要 2013

区分	番号	主催者	日時	参加人数	形態	実施内容	備考	
市営特殊小学校及び夜学校等	20	明化尋常夜学校	5日	96	単	講話, 運動	体育に関する講話。運動は体操, 綱引, 旗送り競争, 自強の体操, 徒競走を実施。教室内の電灯を窓際にかけて実施。夜間の運動に児童は興味をもち勇壮に行った。	
	21	猿江尋常小・夜学校	1日	770	単	宣伝, 準備	体育デー趣意書配布(「児童ヲシテ配布セシム」)。行事日程を作製。	
			3日	770	単	宣伝	ポスターによる宣伝。「児童ノ考案作製スルモノヲ校下要所ニ掲グ」	
		猿江尋常小学校	4日	709	単	運動会	体操, 遊戯, 競技を実施。午前9時から午後3時まで。洲崎埋立地で開催。	
				5日	450	単	講話, 運動	運動に関する講話。外部講師(露木氏)を招聘し化学工業にて行う。運動はテッドボールの指導。
	22	東盛尋常夜学校	4日	91	単	講話宣伝, 運動	体育に関する講話。ポスターによる宣伝活動。体操を実施。	
	23	根津尋常夜学校	4日	70	単	講話	校医の衛生講話, 訓導の体育談。参加者には職員を含む。	
	24	南海尋常夜学校	4日	111	単	講話, 宣伝	体育に関する講話, 活動写真による宣伝。	
	25	松葉尋常夜学校	5日	75	単	運動会	徒競走, 二人三脚, 帽子取, 旗送り等を実施。	
	26	飯倉尋常夜学校	4日	80	単	運動	体操練習会, 市民体操, 遊戯を実施。「此ノ機会ヲ以テ体操遊戯ヲ教授シテ体育ニ資セシム。以後モ力メテ其ノ練習ヲナス。」	
	27	京華尋常夜学校	4日	125	単	宣伝	宣伝ビラを配布。宣伝ビラは体育に関する絵画や文章を印刷したもの。	
	28	柳町尋常夜学校	4日	142	単	講話, 運動	体育デーの趣旨について講話。市民体操の実演。	
	29	赤坂尋常夜学校	4日	50	合	講話, 活動写真	大西学校衛生官による体育に関する講話。赤坂区各小学校及び赤坂区教育会が合同で開催した行事に参加。人数は当該校の参加者のみ。	
			5日	50	単	講話, 運動会	体育の訓話。体操, メデシンボール, リレー競争, 玉送り競争, バスケットボール, 綱引等。	
	30	練屏尋常夜学校	4日	125	単	講話, 運動	校庭で体育衛生についての講話。終了後に1時間随意運動を実施。	
	31	六間堀尋常夜学校	4日	74	単	講話, 宣伝	体育に関する講話。生徒によるポスター作製と掲示。午後6時から8時まで。	
	32	茅場町尋常夜学校	4日	113	単	講話, 運動	体育に関する講話。市民体操の実施。卒業生も少数参加する。	
	33	青山尋常夜学校	4日	86	合	講話, 活動写真	運動衛生について講話。運動に関する活動写真を見る。赤坂区教育会, 青山小学校と合同で開催。	
	34	玉姫尋常夜学校	4日	320	合	講話	校長, 訓導から衛生運動に必要な講話。校長は栄養に関する実験について, 訓導は運動の必要性と運動の実施事項について話す。玉姫尋常小学校夜間部と合同で開催。	
	35	青柳尋常夜学校	5日	92	単	運動会	体操, 徒競走, 綱引, その他を実施。午後6時半から開催。照明設備, 運動準備等一切職員ノ手ニテ為ス。	
	36	柳島尋常夜学校	4日	56	単	運動, 講話	午後7時から8時まで体操, 遊戯, 徒競走。午後8時から9時まで体育に関する講話。	
	37	谷中尋常夜学校	4日	72	単	講話	講堂に於いて全生徒に対して校長から講話を行う。	
			5日	40	合	運動会	徒競走を実施。谷中小学校と合同で実施。	
	38	富士前尋常夜学校	4日	86	合	講話, 運動会	衛生講話。運動会。午後6時半から9時まで。本郷区青年団第五分団と合同。	
	39	月島尋常夜学校	4日	1,500	合	宣伝	体育の宣伝活動写真会。京橋区教育会, 月島小, 佃小(佃島?)と合同。午後6時から9時まで。	
	40	明德尋常夜学校	3日	17	単	運動	徒競走, 角力, 走巾飛, 走高飛等。スタート練習, 仕切練習, 姿勢, ゴール前の練習なども行う。	
			4日	92	単	講話	国民精神と体育について, 体育と国運について講演。教室にて実施。	
	41	□□□小学校	5日	1,315	単	講話	体育衛生に関する講演会。	
	42	麹町高等小学校	5日	324	単	運動会	体操, 競技, 遊戯	
	43	番町尋常小学校	4日	1,360	合	講話	体育に関する講話。麹町実科女学校と合同。	
			5日	1,500	合	運動会	体操, 競技を実施。麹町実科女学校及びその保護者と合同で開催。	
	44	麹町尋常小学校	7日	943	単	運動会	体操, 遊戯。近衛歩兵第3連隊□□□テ行フ。	
	45	富士見小学校	5日	1,177	単	運動	体操, 遊戯	
46	富士見小学校附属幼稚園	5日	84	単	運動	体操, 遊戯		
47	麹町区実業補習学校	5日	60	単	講話	体育に関する講話。		
48	日比谷尋常小学校	3日	806	単	新聞, 運動会	体育奨励に関する新聞記事を掲示。運動会は府立一中の校庭で実施。		
		4-5日	123	単	展覧会	5・6年生のみ。「児童制作ノ体育奨励ポスターヲ陳列展覧ニ供ス。」		
49	上六尋常小学校	5日	658	単	運動	体操, 競技を実施。※字が滲み判読不能の箇所が多い。		
50	永田町尋常小学校	5日	580	単	運動	体操, 遊戯, 競技		
51	暁星中学校	3日	675	単	講話	※字が滲み判読不能の箇所が多い。		
52	九段精華高等女学校	4日	550	単	運動	体操, 遊戯, 競技。精華学校と合同。		

1924年の第一回全国体育デーの活動状況に関する一考察

区分	番号	主催者	日時	参加人数	形態	実施内容	備考	
麹町区	53	海城中学校	3日	327	単	遠足	徒歩旅行を実施。荒川放水路、岩淵水門等見学。第□□三年級生徒職員。 多摩川方面へ徒歩旅行。第二年級生徒職員。 千葉の国府台方面に徒歩旅行。第一年級生徒職員。	
				120				
				191				
	54	帝国在郷軍人会麹町区分会	9日	255	合	行軍	荒川放水路の見学を兼ね行軍。在郷将校分団及び家庭ト連繫。	
	55	麹町区青年団永田町分団長	2日	40	単	柔道場開放	「二日道場開ノ式挙行今後毎週ニ団体練習ヲ行フ。」	
5日			10	合	運動	永田町小学校運動会に参加。徒歩競争を実施。		
56	大妻高等女学校	3日	974	合	講話、遠足	体育奨励の講話。遠足を実施し、乃木邸、乃木神社、歩兵第一連隊、明治神宮へ。		
神田区	57	専修商科学校	3日	388	単	遠足、講話	武州御獄山方面へ。午前6時新宿発、午後七時新宿着。体育に関する講話。	
	58	日本商業学校	5日	158	単	講話	砲兵大尉の講演。	
	59	神田高等女学校	3日	376	単	講話、遠足	体育に関する訓話。徒歩で二重橋、芝離宮へ遠足。	
	60	専修商業学校	3日	820	単	競技大会	講話	体育に関する講話。
				48			相撲大会	
				60			剣道野試合	
				74			柔道大会	
				14			テニス対校試合	
				11			野球試合	
	61	錦城商業学校	—	70	単	運動	剣道（10月26日に実施）	
				70			柔道（10月26日に実施）	
				60			テニス（10月26日に実施）	
				100			相撲（10月31日に実施）	
60				ランニング（11月9日に実施）				
62	明治中学校	—	700	単	運動	各種の競技を実施（10月19日に実施）		
63	開成中学校	3日	850	単	遠足	旧校舎から新校舎まで約5kmを遠足		
64	神田区市立学校	3日	—	合	宣伝	各校児童に体育デー記念宣伝葉を配布。		
65	神田区青年団	—	—	—	決議	準備が整わなかったため、来年度以降、徒歩遠足（十月第三日曜日）、明治神宮参拝（十一月三日、徒歩で）を実施することを決議。		
日本橋区	66	常盤尋常小学校	4日	800	単	講話、運動	体育講話。運動は運動会の練習（幼稚園及び小学校の競技、体操、ダンス）を行う。	
	67	十思尋常小学校	3日	679	単	運動会	体操、教練、遊戯。「元氣ヲ鼓舞スルタメ楽隊ヲ附ス。」職員、青年団、女子校友会、婦女会も参加。保護者も招待。参加児童は学用品、優勝団体は商品がもらえた。	
	68	東華尋常小学校第一幼稚園	3日	890	合	運動	体操、遊戯を実施。午前9時から午後3時まで。	
				79				
	69	箱崎尋常小学校	4日	512	単	運動、宣伝	運動遊戯、団体競技、体操（練習会）を实行。宣伝活動は児童によるポスターの作製。	
	70	千代田小学校	3日	80	単	運動場開放	運動場を開放し運動させる。放課後、日曜は午前中から開放。	
				約100	単	運動	教員と児童が放課後共に体操競技練習会を行う。	
	71	久松小学校	4日	220	単	遠足、運動会	各学年が遠足を実施（1年生：日比谷公園、2年生：小石川植物園、3年生：滝野川六義園、4年生：井之頭公園、5年生：国府台里見公園、6年生：江ノ島海岸）。目的地で徒歩競争、旗送り等を実施、体育の必要性を自覚させる。	
				197				
				189				
				190				
				193				
				182				
72	濱町尋常小学校 濱町青年分団	4日	620 30	合	運動会	徒競走、球技、綱引等。午前9時から二時半まで。青年団と合同で杉村邸焼跡で実施。		
73	城東尋常小学校	1日	700	単	講話	校長による講演。		
74	阪本尋常小学校	4日	800	単	運動会	校庭にて体操と競技を実施。		
75	日本橋高等小学校	5日	375	単	講話、運動	体操、団体遊戯、剣道。団体遊戯は方形デッドボール。青年団員（6名）も剣道に参加。		
76	日本橋女子高等小学校	5日	431	単	運動会	体操、球技、綱引、市民体操等を実施。「当校ニ於ケル運動競技ハ学校及一般体育ノ必要ナルコトヲ理解セシムルタメ児童保護者ヲ招待シタリ。」		
77	有馬尋常小学校	3-5日	不明	単	宣伝	作成したポスターを学校の玄関、廊下、教室等に陳列。体育的気分の向上に努める。		
		4日	不明	単	講話	全児童に対し訓話。		
		5日	不明	単	宣伝	児童の作製したポスターの一部を家庭に持ち帰らせ宣伝に資する。		
78	城東青年分団	1日	30	単	講話	衛生講話会を開催し、学校長らの講話を行う。		

## 『論叢』玉川大学教育学部紀要 2013

区分	番号	主催者	日時	参加人数	形態	実施内容	備考
京橋区	79	南横町小学校	5日	520	単	遠足、運動会	明治神宮参拝, 代々木練兵場へ行進, 運動会(移動は電車。費用は一部保護者負担)。
	80	宝田小学校	1日	300	単	講話	体育デー及び体育について講話。
	81	宝田同窓会、青年分団	2日	300	単	講話	体育デーについて講話。
	82	宝田尋常小学校	4日	600	単	講話、衛生	衛生講話と衛生訓練を実施。「菌ノ磨キ方練習、□帯ノ締方等検査」
	83	宝田補習学校	4日	120	単	講話	体育デーについて。
	84	泰明小学校	3日	780	単	運動	家庭で体操を実施。「之ヲ機トシテ以後自発的ニ家庭ニ於テ体操ヲ行フコトトス。」
			5日	762	単	遠足、運動	遠足先で遊戯、競技、之ヲ機トシテ以後自発的ニ家庭ニ於テ体操ヲ行フコトトス。
	85	明石小学校	5日	650	単	講話、運動	体育に関する講話の後に体操、徒歩競技、遊戯を実施。
	86	佃島小学校	5日	1,500	合	活動写真	京橋区教育会、月島小学校、月島夜学校と合同。
	87	月島小学校	5日	500	単	運動会	全校校庭に於て行う。
	88	月島第二小学校	3日	95	単	宣伝	ポスターを製作し、学校内及び町内要所に掲示を行う。
			4日	725	単	運動会	商船学校校庭に於いて
			5日	725	単	相談、講話	体育相談。カード式の個人成績表の作成と利用。衛生訓練と点呼。衛生講話の実施。
	89	文海小学校	5日	500	単	運動会	個人競技、リレー、団体競技の実施。
	90	築地小学校	4日	820	単	運動、相談	運動会の練習(遊戯、体操教練等)。学校医の体育相談(事前に印刷物を保護者に配布)。
	91	京華小学校	5日	350	単	講話	体育に関する講話。
			5日	786	単	遠足、運動会	3年生以下は飛鳥山。4・5年生は□戸川(江戸川?)。デットボール、綱引、徒競走。
			7日	163	単	遠足	6年生は江ノ島、鎌倉へ遠足を実施。
	92	霊岸島小学校	3日	536	単	運動	児童各自に体育的な活動を届出させ実行させる。
			3-8日	536	単	体育週間、講話	体育週間を設定。「毎朝礼後「カラダヲ丈夫ニシマセウ」ト斉唱。」体育講話。
			3日	536	単	体育用具の補修	震災後に職員が製作した肋木及び平行棒を補修、ペンキ塗り。
93	越前掘小学校	4日	598	単	運動会、講演	校長による体育振興についての講演。	
94	京橋高等小学校	3日	1,000	単	宣伝	体育に関するポスターを児童・生徒が各2枚ずつ作製。2千枚を区内外に掲示	
95	京橋高等小学校	5日	70	単	競技大会	相撲大会を実施し、各青年分団の選手を招待。	
96	中央□□学校	2-3日	600	単	運動	柔剣道、ピンボン等。生徒、父兄が参観。体育の徹底。校友会、□□□会と合同。	
97	鉄砲洲小学校	4日	820	単	講話	全児童を対象に体育に関する講話を実施。	
		7日	820	単	遠足	校外教授を実施。	
芝区	98	高輪中学校校友会	3日	450	合	競技大会	他校選手を招いて競技大会を開催し、柔道、剣道を行う。高輪商業と合同で開催。
	99	三田高等女学校	3日	524	単	講話	体育に関する講話。
	100	戸板裁縫女学校	4日	1,450	単	講話	体育に関する講話。
	101	東京高等女学校	4日	775	単	講話、遠足	講話後、明治神宮へ徒歩で参拝。
	102	西桜尋常小学校	4日	490	単	運動会	体操講習会、運動会は小学生に適した各種の陸上競技を実施。
	103	芝尋常小学校	4日	1,660	単	講話、運動会	体育についての講話。体操、競走遊戯、表情遊戯等を実施。
	104	御田高等小学校	3日	588	合	講話、運動会	各学年毎に体育に関する講話。運動会では体操、遊戯、競技を実施。聖坂小学校と合同。
	105	南海尋常小学校	5日	767	単	講話、活動写真	体育講話、活動写真(オリンピック、月島の水泳、健康の力、体育博覧会)。
	106	聖坂尋常小学校	5日	942	合	講話、運動会	参加人数には卒業生70名を含む。御田高等小学校と合同。
	107	桜田尋常小学校	4日	735	単	講話宣伝、運動	体育講話。宣伝活動は標語ポスターの募集。運動会(徒手体操、練習競争、遊戯)。
	108	南桜尋常小学校	5日	641	単	講話、運動会	体操、教練、遊戯、競技等を実施。
			4日	850	単	講話	体育に関する講話。3年以下と4年以上の2組に分け、雨天体操場で実施。
	109	台町尋常小学校	5日	850	単	運動	体操、競技、団体競技、遊戯を実施。
			3日	1,780	単	講話、運動会	体育に関する講話の後、運動会を実施。800名の保護者が参加。
111	三光工商学校	4日	120	単	講話	体育に関する講話。	
112	御田尋常小学校	3日	1,256	単	講話	体育に関する講話。	
		5日	1,256	単	運動会	体操、遊戯、団体競技、個人競技を実施。	

1924年の第一回全国体育デーの活動状況に関する一考察

区分	番号	主催者	日時	参加人数	形態	実施内容	備考
芝区	113	白金尋常小学校	5日	1,234	合	講話、運動会	各種競技、高輪小学校の選手とデッドボール対抗試合合同。
	114	愛宕高等小学校	5日	678	単	運動会	体操、競技。校庭狹隘の為代々木練兵場の一部を使用。
	115	神応尋常小学校	5日	984	単	宣伝、講話	宣伝活動として体育デーのポスターを配布。体育に関する講話。体操練習会を実施。
	116	高輪小学校	5日	914	単	運動会	1,500名の保護者が観覧。
	117	芝浦尋常小学校	4日	546	単	講話	体育講話。「児童ノ体育振興ノ為永続的ノ施設ヲ為シ今後実施スル予定」
	118	柴井町青年団	3-5日	22	単	運動	体育宣伝のため芝区青年団事務所訪問、競争を実施。今後、毎年実施予定。
赤坂区	119	赤坂小学校	4日	1,200	単	講話、運動会	体育に関する講話、訓話と運動会。全校児童が参加。運動会では学年別男女別に各種運動競技を行う。特に教員の模範演技を行う。
	120	青山小学校	4日	1,450	合	講話、競技大会	体育講話。剣道・柔道大会。児童と教員の紅白綱引。赤坂区青年団青山分団役員と合同。
	121	中之町小学校	5日	1,273	単	運動会	徒競走、球技、ダンスなど。
	122	青南小学校	4日	1,415	単	講話、運動、遠足	人類生活の向上を計るため体育振興の必要性を講話。遊戯、体操、遠足。
	123	水川小学校	4日	633	単	講話、運動	体育に関する講話。午前と午後に分かれて体操、競技、遊戯、徒競走、綱引等を実施。
	124	赤坂区教育会 区□□□□各小学校	4日	1,700	連合	講話、映写	体育に関する講演会。体育に関する注意点の映写。※その他は字が滲み判読できず。
四谷区	125	四谷第一尋常小学校	—	1,400	単	運動会	徒競走、その他競技、遊戯。午後0時開始。四時閉会。保護者800名参観。(10月25日実施)
			4日	50	合	競技大会	剣道大会。区内各市立学校で合同。午後1時開会、4時閉会。区長や各学校の保護者が参観。
	126	四谷第二尋常小学校	1日	全校児童	単	運動会	運動競技会。陸上競技、球技等。「1. 第四、五、六学年ハ男女トモ対級競技トシテ対国対校ノ競技ノ方法ヲ知ラシメ合セテ低学年ト共ニ一方体育ノ必要ト競技ノ何物カヲ知ラシム。2. 一切ノ裝飾ト形式賞品トカラ離レテスポーツ精神ノ尊敬ヲ知ラシメントセリ。」
			4日	4年生以上	合	競技大会	剣道大会に参加。高点試合(優勝者三本勝負)。10名の選手が参加。応援者50名。「佐藤区長ヨリ運動ノ必要ナルコト、殊ニ剣道ハ古来我武士道精神ヲ鍛練スルニ必須ナル国技トシテ課セラレシコト等有益ナル訓話アリタリ。」
	127	四谷第三尋常小学校	4日	42	合	競技大会	剣道大会に参加。
	128	四谷第四尋常小学校	4日	100	合	競技大会	剣道大会に参加。会場校。
	129	四谷第五尋常小学校	4日	1,723	単	講話	体育デーの宣伝及び体育衛生に関する講話。
			4日	54	合	競技大会	剣道大会に参加。高点試合、三本勝負。参加人数は他区小学校児童も含む。
130	四谷高等小学校	4日	703	単	講話、運動	講話「体育デーの趣旨宣伝、我国の現状と体育の必要、運動競技と心身の鍛錬、日常行ふべき簡易体操」。運動は、全校体操、組分け綱引、女子リレー競争、職員競争、男子相撲。講話後に運動、午前9時から午後4時。全校体操は「市民体操」に準拠、今後も各自で実行。	
		4日	20	合	競技大会	剣道大会に参加。紅白勝負、選手勝負、模範試合。	
牛込区	131	赤城尋常小学校	5日	925	単	講話、運動会	体育に関する講話。講師は学校長、全校児童対象。運動会は内部のみで行う、競技は17種。
	132	愛日小学校	5日	1,159	単	運動	体操練習会を開き、体操及び個人競技を行う。
			3日	150	単	講話	体育に関する講話。講師は校長及び職員。
	133	余丁町尋常小学校	3日	1,700	単	活動写真	—
			4日	36	単	運動	運動競技を実施。
			4日	1,324	単	講話	体育に関する講話。講師は学校長。
	134	江戸川小学校	4-5日	1,324	単	運動	合同遊戯、体操。
	135	市ヶ谷小学校	5日	1,519	単	運動	体育運動を実施。保護者620名参加。
	136	牛込小学校	1-5日	324	単	宣伝	ポスター展覧会を開く。児童が作製したポスターを展示。
			3日	110	単	運動	デッドボールを行う。
			4日	1,213	単	運動	体育競技練習会
			5日	1,215	単	講話	※字が滲み判読不能。
	137	山吹小学校	4日	1,732	単	運動	デッドボール競技、体操を行う。保護者も観戦。
	138	早稲田実業学校	—	1,700	単	運動会	剣道、角力、競技を行う。校庭にて運動大会として実施。(10月26日に実施)
139	成城尋常小学校	—	450	単	運動	各種競技を実施。(10月25日に実施)	
140	岩佐高等女学校	3日	185	単	運動	競技、運動、体操を実施。※字が擦れ判読不能の箇所が多い。	

## 『論叢』玉川大学教育学部紀要 2013

区分	番号	主催者	日時	参加人数	形態	実施内容	備考
小石川区	141	大塚尋常小学校	1日	—	単	講話	体育ノ必要、一般国民ノ現状、体育ト衛生
			—	—	単	宣伝	体育デーの宣伝及び衛生週間実施についての注意事項を各家庭に配布。4日から10日まで。
			5日	—	単	運動	体育競技、遊戯を全学年で実施し、体育について批評研究をする。
	142	金富尋常小学校	5日	1,200	単	運動会	体操、遊戯、剣道等。後援会が協力「来訪者数千名ニ及び体育熱ヲ鼓吹スルコトヲ得タリ」
	143	指ヶ谷尋常小学校	3日	20	単	運動	運動練習会を実施しテニスを行う。職員が参加。午前10時から午後4時まで。
			4日	136	単	運動	競技練習会を開催し、テッドボール、キックボール、リレーの練習をする。
			5日	731	単	遠足	校外教授を兼ねて遠足。1年生は上野、2・3年生は中野、4年生は大宮。
	144	小日向台町尋常小学校	3日	1,141	単	講話、運動、宣伝	体育に関する講話。運動では体操、陸上競技（綱引、バスケットボール、棒倒し、ポテトレース、ボートレース、障害物競走、帽子取、擬馬戦等）。
			4日	1,141	単	衛生、清掃	容儀検査、清潔検査、校舎内外大清潔法を実施。容儀、身体、衣服、頭髪、口腔、耳、爪を個人検査。今後毎月1回検査を行う予定。
			5日	454	単	遠足	5年生は明治神宮参拝、6年生は中央気象台、日々新聞社見学。両学年とも徒歩で移動する。
			3-4日	—	単	宣伝	児童制作のポスターを学校附近に掲示し、各家庭にも通知を行う。
	145	青柳尋常小学校	5日	1,837	単	運動	体操、遊戯、競技
	146	駕籠町尋常小学校	—	—	—	運動	市民体操を「学校に於て児童に熟達せしめ更に家庭に普及せしめんとす。」
			—	—	—	宣伝	「児童より募集し、優良なるものを選び之を印刷して家庭にも配布す」
			—	—	—	衛生	「平素実行せる検査をことに励行す」
	147	柳町尋常小学校	4日	1,476	単	講話、遠足、運動会	体育に関する講話。遠足、運動会を予定。雨天順延（報告書は実施前に提出されているので雨天の場合は順延の意味か）。
	148	御殿町尋常小学校	5日	1,420	単	遠足、運動会、調育	巣鴨廃兵院見学。廃兵院にて体操、遊戯、競技体育会、自活調育、調育調査を実施。慰安の為、廃兵にも観覧してもらう。
	149	明化尋常小学校	5日	1,400	単	遠足、講話、運動会	飛鳥山まで遠足、同所で体育に関する講話、運動会（全校体操、綱引、徒競走、センターボール等）。午前9時学校発、午後2時に帰校解散。
	150	小石川高等学校	4日	—	単	遠足	筑波山に遠足。「大ニ児童ノ意気ヲ鼓舞スルト共ニ強健ナル身体ノ必要ヲ感知セシメ積極的鍛錬ニ資シタリ」
			5日	全校児童	単	運動会	小運動会を開催。リレー、テッドボールを実施。優勝旗を争う。「其ノ元気ノ旺盛ナル確ニ其ノ目的ノ一端ヲ達シ得タリト思惟ス。」
				職員総代	—	職員派遣	明治神宮外苑競技場における国際陸上競技大会に職員総代を派遣、観覧させ、その状況を職員、児童に講話。
			全校児童	単	講話	小運動会前に、校長から「健全ナル精神ハ健康ナル身体ニ宿ル意味」について講話。その趣旨を家庭にも伝えるように付言。	
			—	—	単	宣伝	体育デーに関するポスターを児童が作製し、学校附近に掲示。児童と通学区域における市民の注意を喚起。「時日切迫ノ為、多数ノポスターヲ得ル能ハザリシヲ憾ム。」
			2-3日	職員	単	職員旅行	神奈川県湯河原方面に旅行。「清境ニ遊ビ大ニ身心ノ静養ヲナシタリ」
			—	—	単	宣伝	体育衛生に関する注意事項を印刷し、児童を通じて家庭に配布。作成は治療医に委嘱。
	151	京北実業学校	3日	590	単	運動、講話	有志の生徒が参加。相撲、撃剣、柔道、庭球、競争を実施。体育に関する講話。
	152	不明	3日	166	単	遠足	明治神宮参拝。※学校名は不明。主催者は奥田艶子とあり。奥田裁縫女学校か。
153	京華高等女学校	4日	全校生	単	運動	講話、体操、遊戯、競技を実施。	
154	府立第五中学校	3日	923	単	運動	学校から飛鳥山間。往路は隊形行軍、復路は長距離競争。	
		3日	60	単	競技大会	剣道の紅白試合を実施。	
		3-5日	923	単	体育日誌	学校生活と家庭生活との連絡を取り、3日間体育の見地から日誌を記す（これまで実施してきたことをまとめ、今後の生活に資するようにする）。	
155	跡見女学校	5日	730	単	講話	体育に関する講話。永井潜医学博士による。	
156	東洋高等女学校	3日	860	単	運動	体操、競技、ダンス	
157	日本女子大学	3-4日	1,800	単	講話、運動	講話、衛生検査、調話。競技6種を計画。11月20日頃に実施予定。附属高等女学校と合同。	
本郷区	158	本郷尋常小学校	4日	1,169	単	運動	徒競走、体操、団体競技等。「開会ニ際シ学校長ヨリ体育向上ノ欠クベカラザル事ニツキ講演」
	159	誠之尋常小学校	1日	—	単	掲示教育、衛生	体育デーに関する掲示教育。衛生調査を実施。
			2日	250	単	運動	阿部伯郎に於いて任意遊戯。
			3日	—	単	見学	神宮競技、その他運動競技を保護者と共に見学する事を奨励。
			4日	1,627	単	講話、運動	体育に関する講話。体操、綱引、徒競走を実施。
5日	292	単	遠足	第6学年全員で高尾山へ遠足。			

1924年の第一回全国体育デーの活動状況に関する一考察

区分	番号	主催者	日時	参加人数	形態	実施内容	備考
本郷区	160	湯島尋常小学校	1日	921	単	運動	体操、団体競技、個人競技等を実施。
	161	駒本尋常小学校	4日	1,148	単	遠足	1・2年、3・4年、5・6年各組とする。午前8時出発、正午に帰校。
	—			単	講話	帰校後各学級に於いて学年に応じた講話を行う。	
				120	単	宣伝	第6学年男児がポスターを製作し、校外に掲示。
	162	根津尋常小学校	4日	781	単	遠足	第1学年は下谷区□□□□、第2学年は靖国神社、第3学年は護国寺へ徒歩で遠足を実施。
	293			単	講話	第6学年に対し、衛生講話及び体育講話を実施。講話者は笠間診療医及び各担任。	
	5日		573	単	遠足	第4学年は雑司ヶ谷方面、第5学年は王子滝野川方面へ徒歩で遠足を実施。	
	163	追分尋常小学校	5日	624	合	運動	体操、遊戯、競技等。追分青年団と合同で実施(本郷区青年団第七分団も合同)。
	164	富士前尋常小学校	4日	1,703	単	遠足、運動会、宣伝	徒競走、フットボール。宣伝ビラを撒く。
	5日		1,093	単	講話	田中医師による衛生講話を1時間(4年生以上)。	
		真砂尋常小学校	4日	1,082	単	運動	体操、競技、遊戯。
				364	単	校外教授を実施。小石川細川邸へ。	
	6日		364	単	遠足	校外教授を実施。小石川細川邸及び戸山ヶ原へ。	
				355	単	校外教授を実施。武州高尾山へ。	
	166	千駄木尋常小学校	4日	1,226	単	運動	徒競走、遊戯、体操、団体競技等。体育奨励のため保護者に参加をさせる。
	167	元町尋常小学校	4日	900	単	講話、運動会	体育及び体育デーに関する講話後、全校児童を紅白に分け競技中心の運動会(綱引、徒競走、デットボール、旗送り、ボール送り、律動遊戯)。家庭に対しても体育の普及を図る。
	168	本郷区第一実業学校 本郷区第三青年分団	4日	110	合	講話、運動	体育に関する講話。徒競走、角力、綱引、競技を行う。本郷尋常小学校に於いて夜間開催。午後6時半より10時まで。
	169	日本医学専門学校 校友会	9日	760	単	運動会	各種陸上競技、バン噴競争、福引競争、借用競争などを実施。第二十二回校友会秋季陸上大運動会
	170	京華中学校	3日	800	単	遠足、見学	明治神宮参拝、神宮競技大会見学。
	171	京華商業学校		800			
	172	郁文館中学校 郁文館商業学校	3-5日	600 200	単	遠足	伊香保に遠足(2泊)。
	173	東京女子専門学校 東京裁縫女学校	3日	400 1,100	合	運動	各種競争、遊戯。東尾久グラウンドで挙行政。
	174	錦城高等女学校	3日	825	単	遠足	徒歩で本所被服廠を参拝。自宅より生花を持参し現地を手向ける。
	175	英語専門櫻井女塾	3日	135	単	遠足	午前9時より遠足会を開始、鶴見花月園に集合。午後4時から自由運動を行う。
	176	本郷区青年団第三分団	4日	70	合	講話、運動	優勝者には賞品を授与。本郷小学校に於いて夜間開催。第一実業学校と合同で開催。
	177	青年団第四分団	5日	116	単	遠足	午後7時に□□(赤羽?赤間?)方面へ出発、午後10時に帰る。
	178	青年団第五分団	4日	8	合	講話、運動	田中医師の衛生講話。バスケットボール、角力を実施。午後6時から富士前小学校屋体内体操場で挙行政。富士前夜学校と合同で開催。
179	青年団第七分団	5日	20	合	運動	各種運動競技。追分小学校、追分青年団と合同。	
180	追分青年団	5日	850	合	運動	各種運動競技及び体操。追分小学校、青年団第七分団と合同で開催。	
181	肴町青年団	3日	27	単	見学、講話	明治神宮競技会の見学、体育に関する講話。	
下谷区	181	下谷高等小学校	4日	1,429	単	講話、運動、衛生	学校長の体育に関する講話。体操・遊戯練習を学年・男女別に実施。衛生講話・服装検査の実施。
	182	下谷尋常小学校	4日	790	単	遠足、運動	遠足に於いては、1・2年生は1里、3年生は二里半、4年生は4里、5・6年生は5里を歩く。運動では、徒競走、デッドボール等を実施。
	183	練屏尋常小学校	4-11日	859	単	講話、運動、宣伝、衛生	体育に関する講話・研究発表、運動場開放、五分間体操、ポスター宣伝、衛生検査、トラホーム児童□□、□□□会 ※字が擦れ判読不能
	184	根岸尋常小学校	4日	1,200	合	運動会	体操、遊戯、団体競技、個人競技。校友会、青年団有志と合同。
	185	忍岡尋常小学校	4日	985	単	運動会	学校体操、大玉送り、徒競走、綱引、棍棒立、デッドボール、千鳥競争、リレー、レース、トンネル競争、追入ボール、樽ころがし
	186	東盛尋常小学校	4日	1,166	単	宣伝、講話、運動	ポスターによる宣伝。講話。遊戯・競技。児童退校後、校庭において職員テニス競技を行う。
	187	入谷尋常小学校	4日	802	単	運動、講話	徒歩競争、綱引、体操・遊戯。午前9時より正午まで運動、午後体育講話を行う。
	188	西町尋常小学校	4日	926	単	講話、運動会	体操の変遷と運動精神についての講話。体操、デッドボール、リレーレース競争、帽子取、綱引、キックボール、バスケットボールを実施。

## 『論叢』玉川大学教育学部紀要 2013

区分	番号	主催者	日時	参加人数	形態	実施内容	備考
下谷区	189	御徒町尋常小学校	4日	1,240	単	講話、運動会	ボール運りレー、腎立懸垂、動作遊戯、千鳥りレー、幅跳ポテトレース、動作遊戯、律動遊戯、源平毬入、ハードル、バットトビ等。「体育ノ必要ナル所以ヲトキ児童ヲ通ジテ家庭ニ普及セシメントラ期スルト共ニ児童ノ運動遊戯ニツイテ實際方面ヲモ知ラシメタリ」
	190	谷中小学校	4日	1,561	単	運動、講話	11月6日の運動会の予行を兼ね体育デーを実施（体操、遊戯）。
	191	金曾木尋常小学校	5日	1,063	単	運動会	綱引、徒競走、リレー、騎馬戦、バスケットボール、遊戯を実施。
	192	山伏町尋常小学校	5日	1,122	単	運動会	体操、徒競走、デッドボール、綱引、棒引、リレー、遊戯を実施。
	193	竹町尋常小学校	4日	885	単	講話、運動、遠足	学校長による講話（国家の現状と体育、我國民体育の現状と国家の将来、体育デーの趣旨）。体育運動は体操・徒競走・綱引、デッドボール。来観者は約500名。校外教授を実施（1年のみ）。
	194	台東尋常小学校	4日	1,128	単	運動	綱引を校技に定め定期練習会を開催。
	195	龍泉尋常小学校	5日	629	合	運動会	青年団員（576名）、同窓会（53名）と合同。児童は5・6年生及び4年生以下の選手。徒競走、障害物競走、魚釣競争、走高跳、バスケットボールスロー等を実施。
	196	黒門尋常小学校	4日	947	単	運動、講話	全校体操、ボール、競技、綱引を実施。
	197	大正尋常小学校	4日	1,247	単	運動会	徒競走、リレーレース等を実施。
	198	萬年尋常小学校	4日	732	単	講話、運動会	体育デーに関する校長訓話、4年生以上による記念競技会（上野寛永寺仮教室内）を開催し、連合体操、徒競走、フットボール使用諸競技、綱引、リレー、遊戯等を実施。
浅草区	199	浅草尋常小学校	5日	1,366	単	講話、宣伝	学校長の訓話、野田学校医の講話。
	200	育英尋常小学校	2日	1,258	合	運動	1. 前日の宣伝として、体育デーの趣旨を印刷し児童の保護者と通学区域内に配布。宣伝ビラを各所に配布。南本町警察署及び通学区域内各町内有志に後援を依頼。 2. 当日の実演。通学区域に4コースを作り、3学年以上の男女全児童と同窓会員有志で団体マラソン。第2学年以下の児童はコースに並んで応援。帰校後は校庭で各学年選手と同窓会有志による徒歩競争を実施。一般人の観覧を許可。さらに同窓会会員による綱引を実施。
	201	育英尋常小学校同窓会		327			
		精華尋常小学校	4日	1,344	単	講話、運動	体育奨励の講話、校庭で体操、遊戯。
	202	柳北尋常小学校	5日	730	単	講話、運動	体育に関する講話。体操、遊戯、競技。一般社会ニ対シ体育デーノ趣旨ヲ周知セシムル為児童ノ製作ニナレルポスター数枚ヲ校舎ノ内外ニ掲ケタリ。
	203	待乳山尋常小学校	3日	1,220	単	運動会	体操、遊戯、競技、競争を行う。午前9時より午後2時半まで。児童、職員、小使が校庭に於いて挙行。
	204	富士小学校	7日	1,700	単	運動会	徒競走、桃太郎、体操、綱引、ブランコ、メデシンボール、小鳥、帽子取り、海戦等。
	205	新堀尋常小学校	6日	800	合	運動、宣伝	徒競走、体操を中心に団体競技、運動遊戯を行う。各家庭へ体育に関する宣伝書を配布。同窓会、青年団、町内有志、他学校児童が合同で開催。
	206	福井尋常小学校	4日	883	単	講話、運動	体育講話。徒手体操、遊戯、団体競技、個人競技（宝拾い、笹の船、バスケットボール、ボール送り、流れ星、スプーンリレー、職員リレー等）。午前9時から午後3時。校庭実施。
	207	松葉尋常小学校	5日	687	単	講話、運動会	体育デーに関する訓話。体操、団体競技、個人競争。
	208	千束尋常小学校	3日	1,555	単	講話、宣伝、運動会	体育デーの趣旨、体育講話。宣伝ポスター掲示。運動会は徒競走、バスケットボール、地球ころがし、綱引、宝探し、ボール送り、スプーンレース等を実施。保護者約1,800名が来観。
	209	石浜尋常小学校	4日	1,965	単	講話、運動	校長による体育衛生宣伝の講話を行う。徒競走、その他競技、動作遊戯、体操を行う。「今後毎月三日ヲ期シテ運動競技ヲナシ又ハ衛生ニ関スル講話ヲナス」職員は37名参加。
	210	小島尋常小学校	4日	1,037	単	運動、講話	運動種目、競技、体操教練を行う。体育に関する講話。午前8時半から午後3時まで。
	211	山谷掘尋常小学校	4日	1,528	単	運動、宣伝	綱引、合同体操。旗行列。体育奨励のため通学区域を一巡し宣伝ビラの配布を行う。家庭に対し体操を奨励するため家庭体操を印刷した紙を配布。教員が体育の歌を自作。
212	田原尋常小学校	5日	1,384	単	講話、運動	体育奨励に関する講話。運動種目、体操、競技、遊戯。全校児童を午前、午後の2部に分けて実施。※その他、字が擦れて判別不能の箇所が多い。	
213	金龍小学校	4日	1,410	単	講話	体育に関する講話（オリンピック競技について）。	
		5日	27	単	調査研究発表	体育に関する調査研究の発表（体操科の個人的指導の研究）。	
		5日	1,419	単	衛生	体育学に基づいた衛生検査。	
214	清島小学校	4日	不明	合	運動会	体育デー連合競技会。午前8時から4時まで競技。徒競走、マラソン、綱引、体操等。観覧者は1,600余名。※保存状態が悪く判読できない箇所が多い。※プログラムの実物あり。	

1924年の第一回全国体育デーの活動状況に関する一考察

区分	番号	主催者	日時	参加人数	形態	実施内容	備考
浅草区	215	済美高等小学校	4日	1,305	単	講話、運動	体育デー以降、毎日全校体操を実施。
	216	不明	4日	178	単	講話	体育の講話。※史料の保存状態が悪く校名は判読不能。
	217	不明	5日	103	単	遠足、運動	上野公園、動物園を視察後、公園内で徒競走、旗取等。※校名は判読不能。
	218	□□小学校附属幼稚園	5日	42	単	運動	園庭で遊戯等を行う。※史料の保存状態が悪く判読できない個所が多い。
	219	不明	5日	41	単	遠足	遠足、目的地で遊戯と競技。※史料の保存状態が悪く判読できない個所が多い。
本所区	220	本所高等小学校	1-3日	685	単	運動	健脚試練会の開催。各学年で「適当ナル目的地ヲ定メ自宅ヨリ徒歩又ハ競歩ヲ実行セシメ時間ト距離、疲労等ノ関係ヲ試行セシム。
			4日	789	単	競技大会	本所高等小学校及び二葉分教場と牛島分教場からチームを選出、デットボール大会を開催。本所高等小と二葉分教場は各学級1チーム25名を選出、牛島分教場は全員参加。
			4-8日	896	単	宣伝	体育宣伝展覧会の開催。図画、書画、読方、ポスター、標語等ニヨル体育宣伝ヲ各自一点以上ヲ出品セシメ校舎内ニ於テ展覧セシム。
	221	牛島小学校	5日	339	合	講話	井上牛島校診療医の衛生に関する講話を行う。牛島校と合同で実施。
	222	江東小学校	4日	1,570	単	宣伝、運動	児童を通じて家庭に体育デーの趣旨を宣伝。体操、遊戯の実施。秋季運動会と同一の方法で運動(競技、徒競走、リレー)を行う。
	223	本所尋常小学校	4日	1,200	単	講話、運動会	体育に関する講話。運動会を開催し、体操、徒競走、団体競技を行う。
	224	明德小学校職員 明德小学校	3日	19	単	旅行	塩原旅行(2日夜出発、3日夜帰校)。
			4日	1,142	単	講話	体育デーの趣旨、運動について講話。
	225	中和小学校	4日	1,270	単	講話、衛生	高学年と低学年の2組に分けて校長の講話を実施。身体被服の清潔検査を実施。※校名は明記されず、校長名のみ(擦れて読み取れず)。
			5日	322	単	衛生	「清潔検査ノ結果、身体不潔ナル児童ヲ市設浴場ニ引率シテ入浴ニ付テノ指導ヲナス」
			—	全校児童	単	運動	体育デーを記念して全校生徒で綱引を実施。全校児童を紅白に分け、学年別に昼食後もしくは休憩時に毎日実施(期間は1週間と設定)。(11月4日以降実施)
	226	牛島尋常夜学校	2日	29	単	遠足	午前8時発、電車で新宿駅へ。徒歩で移動し、新宿浄水池、明治神宮参拝、外苑見学。午後2時発、四谷塩町まで徒歩。塩町停留所から乗車、帰校。
			4日	63	単	講話	校医の体育衛生に関する講話(午後7時)。
	227	柳島小学校	4日	1,207	単	運動会	学外で実施(地名が判別不能)。
	228	横川小学校	5日	997	単	運動会	千葉県市川町第二練兵場にて行フ。
			4日	56	合	講話	体育奨励に関する講話(1時間)。夜学青年団と合同で開催。
	229	横川尋常夜学校	5日	55	合	運動	徒歩競争、提灯競争、バスケットボール、球送りを実施。午後6時50分から2時間程度。夜学青年団と合同で開催。
			3日	800	単	講話、研究発表、運動	3学年以上の学生には校長から、2学年以下には各担任から体育に関する講話。体育衛生について訓導の研究を謄写し発表。合同体操を実施し、運動場を開放。
	230	二葉小学校	4日	800	単	運動、宣伝	合同体操。児童に体育衛生に関するポスターを複製させ、学校及び通学区域に掲示する。
			5日	800	単	清掃、衛生	児童、職員、使丁が協力して校舎内外の大掃除を実施。全児童に対して、服装、爪、手、襟首、歯等の清潔検査を実施
4日			1,214	単	講話	体育に関する講話。	
231	茅場小学校	4日	1,214	単	運動	学校体操を創設し、実施する。	
			395	単	運動	メヂンボール大会を開催。5・6年生の対抗試合。	
		5日	1,214	単	遠足	—	
232	緑小学校	1日	825	単	講話	講演会を開催し、児童の体育気分を高揚させる。	
		5日	18	単	旅行	全職員により千葉市への「体育的見学旅行」を挙行。	
233	本横小学校	5日	1,220	単	宣伝、講話、運動、自彊術	児童が体育奨励に関するポスターを複製し、校内及び通学区域内に掲示。校長による体育奨励に関する全体講話を実施すると共に、1・2学年、3・4学年、5・6学年の3組に分けて各学年の訓導から講話を実施(約1時間)。運動は、小学校の運動場及び大平町法恩寺境内等で実施。1・2年生は体操、表情遊戯、団体競技を、3・4年生は体操、団体競技を、5・6年生は体操、教練、団体競技を実施。午後2時半からは講師(清川氏)を招き、自彊術に関する実演と講演会を開催(5・6年生児童と全教員が参加)。	
234	外手小学校	4日	1,146	単	講話、運動	校長の講話。午前9時から午後3時半までを6時間に分割。各学年1時間程度校庭で競技(徒競走、キックボール、綱引、デットボール、帽子取、メヂンボール等)。	
235	業平小学校	1日	1,162	単	運動	校庭で体操遊戯、団体競技(午前8時から正午まで)。運動会に則り、保護者に観覧宣伝。	

## 『論叢』玉川大学教育学部紀要 2013

区分	番号	主催者	日時	参加人数	形態	実施内容	備考
本所区	236	小梅小学校	4日	930	合	講話、運動、宣伝	運動はデットボール、インドアベースボール、職員対児童デットボール、職員対児童インドアベースボール、各種器械体操を実施。ポスターを制作し配布。青年団と合同（青年団の参加者は約20名）。
	237	柳元小学校	4日	1,169	単	講話、運動	体育の必要性について校長から講話（20分）。学年ごとに交代で1時間程度ずつ体操、競技、遊戯を実施。
	238	菊川小学校	4日	708	単	講話	体育に関する校長の講話。
				32	単	衛生	脊柱彎曲児童（3年生以上から選出）に対し矯正体操を実施。今後も継続し、毎日授業前に当該児童に対し、矯正体操を行う。
	239	菊川夜学校	4日	129	単	講話	体育奨励に関する校長の講話。
	240	大平小学校	4日	520	単	講話、運動	体育奨励に関する講話、児童体操及び競技会、職員バスケットボール競技会を開催。なお、児童の競技会は場所と時間の都合上、5・6年生100名程が参加し、他の児童は見学。
	241	本所商工学校	1日	35	合	遠足	職員引率の下、京成電車荒川停車場から岩淵放水路等を徒歩で遠足。参加者の便宜のため全休日を選び実施した。青年団等と連合。
	242	業平商工学校	4日	97	単	自強術、講話	本所小泉町の中井房五郎氏の道場に集まり自強術の練習すると共に、相撲年寄千賀ノ浦及び同氏の体育に関する講話を聞く。
	243	本所実科高等女学校	3日	75	単	講話、遠足	体育に関する講話。花月園に遠足し、園内で体操、遊戯を実施。
	244	牛島夜学分団	2日	29	単	遠足	午前8時に学校を出発。電車にて新宿駅まで。徒歩で新宿浄水池を見学。午前10時に同所を出発。明治神宮参拝、同外苑を見学。午前12時に昼食。午後2時出発。四谷塩町まで徒歩。塩町電車停車場にて乗車、帰校解散。※牛島尋常夜学校と同一の内容。
				63	単	講話	校医による体育衛生に関する講話。※牛島尋常夜学校と同一の内容。
	245	横川青年団	5日	20	合	運動	徒競走、綱引。市川砲兵練兵場において、横川小学校と合同で開催。
	246	横川夜学分団	4日	5	合	講話	体育奨励に関する講話（1時間）。横川尋常夜学校と合同で開催。
				5	合	運動	徒歩競争、提灯競争、球送り。午後6時50分から2時間程度。横川尋常夜学校と合同。
	247	茅場分団、同夜学分団	4日	30	合	講話、運動	体育に関する講話。市民体操の実施奨励。両団が合同で開催。
	248	本横同窓会団	3日	36	合	運動会	運動会の挙行。種目は400m競争、デットボール。中山競馬場を使用。本横□□分団と合同。
249	業平分団	3日	65	合	宣伝、見学	体育宣伝ピラを学区内に貼り付け。明治神宮運動会（競技大会のことか）を見学。	
深川区	250	明川高等小学校	4日	830	単	遠足	—
	251	明治尋常小学校	5日	955	単	宣伝、運動会	ピラによる宣伝活動。宣伝ピラは児童作製のもの。
	252	明治第二尋常小学校	1日	908	単	宣伝、運動会	ピラによる宣伝活動。宣伝ピラは児童が作製し、通学区域内に配布。
				908	単	講話	各学年別に実施。
	253	深川尋常小学校	3日	1,526	単	遠足	—
				1,526	単	自強術	—
				1,526	単	運動会	—
	254	東川尋常小学校	2日	1,580	単	講話、宣伝	ポスターによる宣伝活動。ポスターは5・6年生が作製。通学区域内に配布。
				1,022	単	宣伝、講話	児童が考案したポスターを掲示し展覧会を開催。
	255	東陽尋常小学校	3日	22	単	遠足	教員全員で□（高か？）尾山登山。
				1,022	単	遠足	11月5、6、8日に実施
	256	六間堀尋常小学校	4日	477	単	宣伝、運動会	ポスターによる宣伝活動。ポスターは児童が考案。
				962	単	宣伝	ポスターによる宣伝活動。ポスターの貼布。
	257	扇橋尋常小学校	3日	962	単	運動会	—
				962	単	講話	体育講話。
	258	臨海尋常小学校	5日	1,341	単	講話	体育講話。
259	元加賀尋常小学校	5日	1,500	単	宣伝、運動会	—	
260	数矢尋常小学校	3日	194	単	遠足	—	
			1,200	単	運動会	—	
261	八名川尋常小学校	4日	900	単	宣伝、運動会	—	
			900	単	講話	体育講話。	
262	川南尋常小学校	4日	1,152	単	運動会	—	
八王子市	八王子市立小学校連合競技大会	3日	1,234	合	運動会	市内の小学校が合同で開催。短距離競走、長距離競走、ハードル、幅跳、馬跳、砲丸投、円盤投、相撲、リレー、バスケットボール等を実施。	
						山岳旅行を実施。※八王子市に於いては、その他の団体は既に運動会等を実施済みの為に、体育デー当日に特に行事等を開催せず。	
264	南新町青年会	3日	30	単	旅行		

1924年の第一回全国体育デーの活動状況に関する一考察

区分	番号	主催者	日時	参加人数	形態	実施内容	備考
荏原郡	265	品川町	3日	5,100	合	宣伝, 運動会	5年以上の児童が参加。開催場所はハッ山埋立地。体育に関する宣伝書を配布。体育に関する唱歌を歌う(学校)。徒競走, 幅跳, 武術(青年団, 軍人会)。4年以下は学校で運動会を実施。各町立小学校, 品川町青年団, 在郷軍人品川分会と合同で開催。
	266	大崎町青年会	3日	650	合	運動	町内のグラウンドで開催。体操, 徒歩競争, 武術, 遊戯等を実施。「豫期以上ノ成績ヲ得。」大崎町, 町内各小学校(6年生以上), 在郷軍人分会と合同で開催。
	267	目黒町	3日	1,790	合	運動, 宣伝	体操, 遊戯, 撃剣, 角力を実施。体育宣伝ポスターを町内要所に掲示。体育デーの趣旨を印刷し配布。町, 各町立小学校, 女学校, 荏原軍人分会, 青年団の合同で開催。
	268	第二荏原小学校	3日	1,800	合	運動, 講演	競技, 遊戯, 体育奨励の講演を実施。小学校と校友会が合同で開催。
	269	櫻小学校	3日	618	単	運動, 宣伝	体操, 庭球, 遊戯を実施。家庭にポスターを配布。
	270	松沢小学校	4日	16	単	運動	各種の競技を実施。
	271	平塚村	4日	2,000	合	運動	徒競走, 団体遊戯, リレー, 教練を実施。小学校児童は5・6年, 高等科が参加。村役場, 村内各小学校, 在郷軍人会, 青年会, 處女会が合同で実施。
	272	碑小学校	4日	813	単	運動	体操, 遊戯, 競技を実施。
	273	八雲小学校	4日	280	合	運動	体操, 遊戯, 競技を実施。学校, 青年団, 處女会で合同。
	274	高西小学校	3日	700	合	運動	遊戯, 競技を実施。学校, 在郷軍人分会, 青年団支部が合同。
	275	玉川小学校	3日	170	合	運動	徒競走, リレーレース, 剣術, 銃剣術を実施。ポスターによる宣伝。学校, 青年会支部員, 在郷軍人分会, 女子青年会が合同で行う。
	276	八幡小学校	3日	340	合	運動, 宣伝	競技, 遊戯, マラソン, 撃剣等。学校, 青年会, 在郷軍人分会, 女子青年会の合同。
	277	玉川青年団	3日	232	合	運動	体操及び各種競技(巾跳, 砲丸投等)。学校, 青年団, 軍人分会, 女子青年会の合同。
	278	駒沢小学校	5日	1,700	合	運動	村内他団体と合同で開催。
	279	赤松小学校	1日	250	合	運動	体操, 競技・遊戯を実施。学校, 青年会が合同で開催。1日が休日なので繰上実施。
	280	調布小学校	3日	970	合	運動会, 宣伝	ポスター宣伝し, 村民に体育デーマークを配布。学校, 軍人分会, 青年会, 處女会が合同。
	281	池雪小学校	4日	360	単	運動	体操, 遊戯, 競技
	282	池上村青年会	3日	50	単	旅行	日帰り旅行を実施。
	283	久原小学校	3日	128	単	運動	体操, 遊戯, 競技。
	284	入新井第五小学校	3日	2,700	単	運動会	運動競技会を実施。
	285	入新井町青年会	3日	500	合	運動会	夜間は活動写真を実施。青年会, 在郷軍人分会が合同で開催。
	286	入新井第二小学校	3日	1,180	単	運動	体操及び競技を実施。
	287	山中小学校	3日	1,476	単	運動	体操, デッドボール, その他競技・遊戯。
			4日	466	単	宣伝	ポスターを作成し掲示, 一般に宣伝する。
			5日	1,449	単	講話	体育に関する講話。
	288	原小学校	4日	644	単	遠足	午前9時より11時半まで。
			4日	60	合	競技大会	デッドボール試合合同を実施。鈴ヶ森, 矢口両校と合同で開催。
	289	鈴ヶ森小学校	4日	800	単	遠足	—
	290	大井小学校	5日	1,700	単	競技大会	体操, 競技, 遊戯, 徒歩競争。一部競技は處女会が行う。
	291	岐濱小学校	3日	1,600	単	講話, 運動	体育に関する講話。体操, 遊戯。
	292	大森第一小学校	3日	1,129	単	遠足	—
4日			733	単	遠足	—	
293	大森第二小学校	—	2,000	合	講話, 競技	体育講話。徒歩競争, 団体競技・遊戯。第一小, 町青年団, 軍人分会と合同。4日以降実施。	
294	矢口西小学校	3日	136	単	遠足, 競技	リレー, 徒競走	
295	矢口小学校	5日	508	単	運動会	—	
296	蒲田小学校	3日	2,072	単	運動	デッドボール, 少年野球, 徒競走等を実施。	
297	六郷小学校	5日	950	合	運動	体操, 徒競走, 遊戯等。	
298	穂谷小学校	4日	448	単	講話, 運動	体育に関する講話。体操, 徒競走, 遊戯等。	
299	羽田小学校	3日	2,134	単	運動	体操・遊戯。前日, 体育デー講話。「教員八宣伝ノタメ体育新聞ヲ一枚家庭ニ配□ス」	
300	日本体育会	3日	600	合	運動, 宣伝	講話, 合同体操, 自由運動を実施。宣伝ビラを配布。	
301	日出高等女学校	3日	550	単	行進, 教練	「規律の団体操, 教練, 体育講話, 明治神宮参拝」遠足	

## 『論叢』玉川大学教育学部紀要 2013

区分	番号	主催者	日時	参加人数	形態	実施内容	備考
豊多摩郡	302	野方西小学校	3日	278	単	講話, 運動会	体育デーに関する講話。
	303	大宮尋常高等小学校	3日	50	合	講話, 運動会	体育デーに関する講話。校友会と合同で開催。
	304	桃野尋常高等小学校	3日	500	合	講話, 運動会	体育に関する講話。青年団と合同で開催。
	305	高円尋常小学校	4日	900	合	運動	徒競走, 剣道, 相撲, デッドボールを実施。青年団, 處女会と合同で開催。
	306	□田尋常小学校	3日	252	合	運動	徒競走, 剣道, 相撲, デッドボールを実施。青年団, 處女会と合同で開催。
	307	桃井尋常高等小学校	3日	500	合	運動	体操, 徒競走, 砲丸投, デッドボール等を実施。在郷軍人分会, 青年団, 處女会と合同。
	308	高井戸尋常小学校	3日	500	合	運動会	「運動会及体操遊戯」を実施。青年団, 處女会と合同で開催。
	309	高井戸第三小学校	3日	200	単	運動	体操, 遊戯, 徒競走, デッドボールを実施。
	310	大久保尋常高等小学校	3日	200	単	—	※記載なし
	311	戸山尋常小学校	3日	3,950	合	宣伝, 運動会	ポスターを作成し体育デーの宣伝を実施。青年団, 處女会, 父兄会と合同で開催。
	312	不明	3日	1,265	単	運動会	※文字が滲み校名が読み取れず。
	313	戸塚第一尋常高等小学校	5日	1,100	単	運動会	—
	314	戸塚第二尋常高等小学校	5日	1,500	単	運動	体操, 遊戯, 競技を実施。
	315	淀橋第二尋常小学校	3日	718	単	運動会, 宣伝	体育運動会の開催。体育宣伝ポスター及びマークを配布。
	316	淀橋第三尋常小学校	3日	1,200	単	運動会	—
	317	淀橋第四尋常小学校	3日	1,280	単	運動	体操, 遊戯, 競技を実施。
	318	淀橋第五尋常小学校	3日	936	単	講話, 宣伝	体育に関する講話, ポスターによる宣伝, マークの交付を実施
	319	幡代尋常高等小学校	4日	1,670	単	運動	—
	320	山谷尋常小学校	5日	740	単	講話, 運動会	—
	321	上原尋常小学校	4-5日	1,342	単	運動, 講話	運動では体操と野外運動を実施。体育及び衛生に関する講話。
	322	笹塚尋常小学校	4日	950	単	運動	徒競走, リレーレースを実施。
	323	本村尋常小学校	4日	851	単	運動	体操, 徒競走, 綱引
	324	千駄ヶ谷尋常高等小学校	5日	1,650	合	運動会	体操, 綱引, デッドボール, リレーレースを実施。人数には職員も含む。4校が合同で開催。
	325	千駄ヶ谷第二小学校					
	326	千駄ヶ谷第三小学校					
	327	千駄ヶ谷□習小学校					
	328	渋谷尋常高等小学校	3日	1,897	合	運動, 宣伝	運動は剣道, 庭球を実施。ポスターによる宣伝。青年団と合同で開催。
	329	大和田尋常小学校	3日	87	単	競技大会	柔道大会を開催。人数は不明確(数字が消えている痕跡, 1,000名規模の可能性もあり)
	330	臨川尋常高等小学校	4日	1,679	合	運動	撃剣, 体操, 遊戯を実施。青年団, 同窓会と合同で開催。
	331	広尾尋常小学校	3日	1,178	単	運動	体操, 遊戯, 徒競走, デッドボール, バスケットを実施。
	332	大向尋常小学校	3日	1,365	単	不明	※字が擦れて判読不能
	333	私立日本中学校	3日	652	単	運動	剣道, 柔道, 庭球, 競技, 体操。
	334	私立名教中学校	4日	860	単	運動	セン□ボール競争
	335	私立高千穂中学校	5日	230	合	遠足・運動	高千穂小学校と合同。遠足を実施し, 遠足先でリレーレース競争, 綱引を実施。
	336	渋谷町教育会	1-5日	不明	単	宣伝	各公立小学校教職員を集め, ポスターを配布。
	337	渋谷町青年団	3日	110	単	競技大会	剣道の紅白試合。
	北豊島郡	338	板橋尋常高等小学校	5日	2,032	単	運動
339		板橋第二小学校	3日	1,205	単	運動	徒歩競争, 団体遊戯, 体操, 表情遊戯等を実施。
340		仰高尋常高等小学校	3日	1,970	単	運動	体操, 遊戯, 競争等。

1924年の第一回全国体育デーの活動状況に関する一考察

区分	番号	主催者	日時	参加人数	形態	実施内容	備考
北豊島郡	341	仰高東小学校	3日	862	単	宣伝、遠足	体育宣伝を行う。
	342	仰高西小学校	3日	1,352	単	運動	綱引、メジシンボール、遊戯、競技を実施。
	343	滝野川尋常高等小学校	3日	2,407	単	講話、運動	体育講話、競技、遊戯、体操等を実施。
	344	滝野川第一小学校	3日	1,600	単	運動	徒競走、紅白リレーレース、走巾跳、走高跳、砲丸、メジシンボール、庭球等を実施。
	345	滝野川第三小学校	3日	1,422	単	運動	徒競走、競技、遊戯を実施。
	346	滝野川第四小学校	3日	1,005	単	講話、運動	運動では体操を実施。その他に実地授業を実施
	347	日暮里尋常高等小学校	3日	1,900	単	運動	体操、競技、遊戯等。「児童ノ家庭ニハ体育ノ大切ナルコトヲ宣伝ス。」
	348	第一日暮里尋常小学校	3日	1,200	単	運動	運動、競技、体操、遊戯等を実施。
	349	第二日暮里尋常小学校	3日	940	単	運動	運動、競技、体操、遊戯等を実施。
	350	第三日暮里尋常小学校	3日	1,000	単	運動	運動、競技、体操、遊戯等を実施。
	351	第五日暮里尋常小学校	3日	1,300	単	運動	運動、競技、体操、遊戯等を実施。
	352	三河島町立各小学校	3日	6,000	合	運動	運動、競技、体操、遊戯等を行う。第一、第二、第三、峡田小学校が合同で開催。
	353	南千住町立各小学校	3日	7,000	合	運動、宣伝	運動、競技。宣伝ポスターを配布。瑞光尋常小学校他三校、青年団、軍人分会等と合同。
	354	尾久尋常高等小学校	2日	1,650	単	運動	各種運動、競技を実施。青年団員、處女会員も参加。
	355	尾久西尋常小学校	3日	1,560	単	運動	徒競走、団体綱引、相撲、剣道等を実施。青年団員及び處女会員も参加。
	356	赤土尋常小学校	3日	1,020	単	運動	選手競争、綱引、体操等を実施。
	357	王子尋常高等小学校	2日	1,285	単	運動会	—
	358	王子第一尋常小学校	3日	915	単	運動会	青年団員及び處女会員も参加。
	359	王子第二尋常小学校	3日	1,300	単	運動会	—
	360	荒川尋常小学校	3日	1,445	単	運動会	—
	361	豊川尋常小学校	3日	1,514	単	運動会、宣伝	競技運動を実施。体育デー宣伝ポスターを配布。
	362	岩淵尋常高等小学校	3日	2,050	単	運動	徒競走、芸運動
	363	志村尋常高等小学校	4日	1,216	合	遠足、運動	青年団、軍人分会と合同で開催。
	364	上板橋尋常高等小学校	—	760	単	運動	競技運動（10月30日に実施）
	365	赤塚尋常高等小学校	3日	1,200	合	運動、宣伝	体育デーポスターを配布。青年団、處女会、軍人分会と合同で開催。
	366	練馬尋常高等小学校	3日	841	合	運動	競技運動を実施。
	367	豊浜尋常小学校	3日	248	単	運動、宣伝	体操会の実施。ポスターで体育の宣伝。
	368	大泉尋常高等小学校	3日	820	合	宣伝、運動	ポスターで体育の宣伝。各種競技、運動。大泉実業科学学校、青年団、軍人分会と合同。
	369	石神井尋常高等小学校	3日	550	単	運動	各種競技、運動を実施。
	370	石神井東尋常高等小学校	3日	362	合	遠足、運動	青年団と合同。競技等を実施。
	371	石神井西尋常高等小学校	3日	266	単	遠足、運動	競技等を実施。
	372	豊玉尋常高等小学校	3日	450	単	運動	体操会を実施。
	373	開進尋常高等小学校	3日	1,357	合	運動	体操、競技、剣道を実施。青年団、處女会、軍人分会と合同で開催。
	374	長崎尋常高等小学校	3日	1,100	単	運動	綱引、長距離競争、バスケットボール、デッドボール等。

区分	番号	主催者	日時	参加人数	形態	実施内容	備考
北豊島郡	375	高田第一尋常高等小学校	3日	1,069	単	運動、講話	体操、遊戯、綱引を実施。
	376	高田第二尋常小学校	3日	1,044	単	運動、講話	体操、長距離駆足を実施。
	377	高田第三尋常小学校	3日	1,109	単	運動	体操、遊戯、競技を実施。
	378	高田第四尋常小学校	3日	1,114	単	運動	運動競技を実施。
	379	第一巣鴨尋常小学校	3日	1,830	単	運動	50m競争、400m・600m・800mリレーレース等を実施。
	380	第二巣鴨尋常小学校	3日	2,550	単	運動	体操、競技、遊戯等を実施。
	381	第三巣鴨尋常小学校	2日	1,526	単	運動	体操、競技、遊戯等を実施。
	382	第四巣鴨尋常小学校	3日	1,269	単	運動、宣伝	体操、競技、遊戯等を実施。体育宣伝ポスターを各所に掲示。
足立	383	綾瀬村	3日	500	合	運動	砲丸投、徒競走、巾飛、剣道等。綾瀬村、小学校、男女青年団、軍人分会、村有志が合同。
	384	花畑小学校	3日	603	単	講話、運動、宣伝	体操、遊戯、デッドボール大会。「□□□宣伝□ノ行列及ピラヲ配布ス」
西多摩郡	385	吉野村	3日	809	合	運動、講話	徒競走、巾跳、高跳、デッドボール、円盤投、砲丸投等。体育講話を実施。吉野村、教育会、青年会、在郷軍人会、学校、新生会が合同で開催。
	386	小河内村	3日	400	合	運動	徒競走、障害物競走、巾跳、高跳等を実施。小学校と青年会が合同で開催。
	387	東秋留村	5日	837	合	宣伝、運動	体育ポスターを村内に掲示。体操、団体遊戯、徒競走、砲丸投、円盤投、高跳、巾跳、ホスジャンプ、綱引、律動遊戯等を実施。東秋留村、小学校、處女会、補習学校が合同。
	388	戸倉尋常高等小学校	3日	285	単	講話、運動	体育に関する講演。徒競走、砲丸・円盤投、巾跳、高跳、ホスジャンプ、バスケ、デッドボール。
	389	三田村	5日	1,313	合	運動	徒競走、デッドボール、巾跳、高跳、円盤・砲丸投、角力、剣道、柔道、銃剣術。村、小学校、青年会、在郷軍人会、處女会、補習学校が合同開催。
	390	氷川村	3日	630	合	運動	各種体操、競技の練習。柔道、剣道、角力等。小学校と補習学校が合同で開催。
	391	氷川村	5日	250	合	運動	徒競走、巾跳、高跳、砲丸・円盤投、柔道、剣道、銃剣術等。青年会と在郷軍人会が合同で開催。
	392	小宮尋常高等小学校	5日	321	単	講話	体育に関する講話を実施。
	393	檜原村	3日	1,540	合	運動	体操、遊戯、競技、講話を実施。軍人会は夜行軍を行う。檜原村、小学校、青年会、處女会、在郷軍人会が合同で開催。
	394	武蔵野尋常高等小学校	3日	780	単	運動	体操、遊戯、競技を実施。
	395	長岡尋常小学校	3日	142	単	運動	体操、遊戯、競技を実施。
	396	石畑村・殿ヶ谷村青年会	3日	160	単	運動	体操、各種競技の練習。
	397	西多摩尋常高等小学校	3日	775	単	遠足	郊外遠足を実施。
	398	西多摩村	3日	2,500	合	宣伝	活動写真。西多摩村、聖□会、青年会、處女会、在郷軍人会が合で開催。
	399	増戸村小学校・補習学校	5日	468	合	運動	団体競技、個人競技、体操、遊戯等を実施。
	400	福生尋常高等小学校	3日	580	単	講話、運動	訓話、体操、徒競走を実施。
	401	福生村	3日	120	合	運動	撃剣、柔道を実施。福生村、青年会、在郷軍人会、補習学校が合で実施。
	402	熊川尋常高等小学校	4日	290	単	運動	徒競走、砲丸・円盤投、巾跳、高跳、体操、遊戯を実施。
403	熊川村處女会	3日	180	単	宣伝	体育宣伝ビラの配布を実施。	
404	熊川村青年会・軍人会	3日	200	合	運動	柔道、剣道、銃剣術を実施。	
北多摩郡	405	東三鷹尋常高等小学校	4日	581	単	講話	体操講話、体操講習を行う。※体育訓練、衛生訓練、体育デーの必要性については、以下の北多摩郡の各学校共、ポスターにより徹底。
	406	化成尋常高等小学校	3日	1,495	合	運動	体操、遊戯、陸上競技。学校と青年団が合で開催。

1924年の第一回全国体育デーの活動状況に関する一考察

区分	番号	主催者	日時	参加人数	形態	実施内容	備考	
北多摩郡	407	村山尋常高等小学校	3日	847	単	運動	体操、遊戯、陸上競技。	
	408	玉川尋常高等小学校	3日	678	合	運動	体操、遊戯、陸上競技。学校と青年団が合で開催。	
	409	小平尋常高等小学校	3日	700	単	講話宣伝、運動	体育講話、ポスターによる宣伝、マークの交付を実施。ポスターの配布。競技を実施。	
	410	砂川尋常高等小学校	3日	421	単	研究、講話	体育研究及び講話。	
	411	多摩尋常高等小学校	3日	800	合	講話、軍事講習	体育講話、軍事講習の後、それを実施する。学校、青年団、處女会が合同で開催。	
	412	第一小平尋常高等小学校	3日	320	単	講話、村内一巡	その他として旅行を実施。高尾山へ。	
	413	田無尋常高等小学校	3日	620	合	講話、運動	体育講話、陸上一般競技。学校と教育会が合同で開催。	
	414	国分尋常高等小学校	3日	850	単	運動	陸上競技及び教練。	
	415	深大寺尋常高等小学校	4日	367	合	旅行、運動	旅行か陸上競技一般。94名は□□□方面に旅行。それ以外は、西三鷹小学校と合同で実施。	
	416	西砂川尋常高等小学校	5日	637	単	講話	体育デーについての講演、体育に関する講話。	
	417	大正尋常高等小学校	3日	111	単	旅行	日光方面修学旅行	
	418	小金井尋常高等小学校、青年団	4日	1,450	合	講話、競技大会	体育デーについて講話。陸上競技会。学校、青年団、處女会、同窓会の合同。午前8時から午後4時まで。	
	419	昇進小学校	3日	551	単	運動	体操、遊戯、陸上競技一般。午前9時より午後1時まで。	
	420	立川少年団	3日	67	合	講話、教練	飛行機に関する講話、教練、操法。在郷軍人分会、青年団と合で開催。	
	421	立川尋常高等小学校	4日	250	単	遠足、見学	「校外遠足ヲ兼ネ玉川小学校運動会見学」	
	422	調布尋常高等小学校	3-5日	1,000	単	宣伝、講話	「体育宣伝ポスター学区内ニ掲示、体育デーニ付講話」	
	423	西三鷹尋常高等小学校	3日	480	単	講話、運動	体育デーについて講話、体操、陸上競技一般。午前8時より午後3時まで。	
	424	砧尋常高等小学校	3日	746	単	講演、運動	体育講演、体操、メジシンボール、綱引。午前8時より正午まで。	
	425	保谷尋常高等小学校	3日	630	単	講話	体育講演、実習。午後1時より4時まで。	
	426	谷保尋常高等小学校	3日	460	合	講話	体育に関する講話、実習。両4時間実施。学校、青年団、教育会、處女会が合で開催。	
	427	久留米尋常高等小学校	3日	855	単	講話、運動	体育に関する講話。陸上競技一般。午前9時より午後4時まで。	
	428	成隣尋常上高等小学校	3日	306	単	講話、運動	体育に関する講話、体操、遊戯。午前中2時間。	
	429	拝島尋常高等小学校	3日	500	合	宣伝	体育デーの意義、体育の必要を説いた印刷物教材を配布。村内の各団体と合同で開催。	
	430	奇秀尋常小学校	3日	280	合	運動	体操、遊戯、陸上競技。学校、青年団、處女会が合同。午前8時から午後5時まで。	
	431	第三小平尋常小学校	3日	253	合	運動	体操、遊戯、陸上競技一般。学校、青年団、櫻会が合で開催。	
	432	四ツ谷尋常小学校	3日	52	合	運動	体操、遊戯、陸上競技一般。奇秀尋常小学校と連合する。	
	433	武蔵野村第二尋常小学校	3日	250	合	遠足、講話	遠足会、体育講演。学校、父兄会、處女会が合同で開催。	
	434	武蔵野高等小学校	3日	1,100	合	宣伝講演、運動	ポスター製作、展覧。講演。陸上競技。第一尋常小学校と開催。青年団、處女会も参加。	
	435	調布小・多摩小学校	5日	300	合	野外演習	野外演習（多摩川を中心にし、両校競技）。両校が合で開催。午前8時より午後三時まで。	
	八丈島	436	大賀郷尋常高等小学校	7日	850	合	運動会	体操、遊戯。尋常科1年から高等科2年までの男女児童が参加。2校が合で開催。
		437	三根尋常高等小学校					

## 『論叢』玉川大学教育学部紀要 2013

区分	番号	主催者	日時	参加人数	形態	実施内容	備考
八丈島	438	樫立尋常高等小学校	1日	455	合	運動会	体操、遊戯。尋常科1年から高等科3年までの男女児童が参加。3校が合同で開催。
	439	中之郷尋常高等小学校					
	440	末吉尋常高等小学校					
師範学校等	441	青山師範学校校友会	3日	105	単	運動	代々木練兵場□□□□間□□長距離競争。各学年一等ヨリ十等マデ及全校ヲ通ジテ等ヨリ十等マデ。「体育デー」□□□□□□□□□□□□。
				180	単	見学	神宮競技会見学。長距離競争終了後に行う。
	442	青山師範学校附属小学校	3日	700	単	宣伝	体育デーの趣旨を宣伝。印刷物を作成し保護者会に宣伝する。
	443	青山師範附属小保護者会	5日	100	単	講話	栄養と体育について国立栄養研究所技師を招いて講演。午後6時より開催。
	444	豊島師範学校	3日	415	単	運動	合同体操、徒競走、鉄棒競技、跳躍競技、バスケットボール、フットボール、ヴァレーボール、リレーレース、相撲。参加者は職員21名を含む。
	445	豊島師範学校附属小学校	4日	829	単	遠足	陸軍戸山学校まで遠足。実科を見学する。参加者は職員20名、教生35名を含む。
その他府立学校	446	東京府女子師範学校	3日	927	合	講話、運動	体育講演会。テニス、バスケットボール、ヴァレーボール。参加者には職員40名を含む。
		第一高等女学校	4日			運動	体操、遊戯、ダンス。ランニング、ジャンプ、スローイングの競技。その他運動競技。
	447	東京府立第一中学校	4日	1,039	単	運動	武道大会、庭球、器械体操、徒競走等を実施予定。雨天の場合は武道大会のみ。※事前に届け出たため、実際の実施内容は不明。
	448	府立第二中学校	3日	350	単	見学	明治神宮競技大会の見学。
			4日	467	単	講話	講話（体育の意義、体育の種類、英国と我国における運動状況、体育運動実施上の心得）。
	449	府立第三中学校校友会	2日	979	単	運動	庭球、籠球、相撲、柔道、剣道、陸上競技
	450	府立第四中学校	3日	1,100	単	運動、宣伝	全校合同体操を実施。宣伝活動では体育宣伝行進。「午前七時二十分明治神宮参道入口ニ職員以下全員集合同第一師団ヨリ□遣ノ□手ヲ先頭トシ「体育デー」ト大書シタル旗ヲ拳参道ヲ前進シ明治神宮ヲ参拝シタル後、代々木練兵場ニ於テ職員生徒全員合同体操ヲ実施セリ」
	451	府立第六中学校	3日	820	単	参拝、講話、運動、展示会	明治神宮へ参拝。帰校後、講話。講話の後に剣道、柔道、弓道、相撲、野球、庭球、バスケットボール、デッドボールを実施。正午から合同体操を行い、校歌合同唱、万歳斉唱をして解散。体育の参考になる資料を陳列（統計表、運動器具、刀、剣、槍等の古武器、体育に関する写真）。生徒及び父兄に随意閲覧を許可。
	452	府立第七中学校	3日	781	単	運動	国府台練兵場にて一斉体操、全校200m競争、学年別800mリレー、職員800mリレーを実施。騎砲兵の陣地侵入動作等の見学。
	453	府立第八中学校校友会	1日	550	単	運動会	徒競走、ハードル、障害物競争、スプーン競争、ダルマ競争、提灯競争、キックボール、走巾跳、攻城ボール、騎馬戦、職員リレーレース、走高跳、長距離レース、棒倒し、綱引、合同体操等々。第2回運動会。
	454	府立第一高等女学校校友会	2日	1,000	単	運動	個人競技、団体競技。保護者、家族、使用人等が参観に来る。午前中は競技。午後は参観人を集めて体育運動に関する講演会。
			5日		単	運動会	体操、遊戯、競技を52種目実施。生徒以外に卒業生多数が参加。参観者は1,000名を超える。午前8時半開会、午後2時半閉会。
455	府立第三高等女学校	9日	不明	単	運動会	参観者は6,000名を超える。各種競技を実施（プログラム添付）。第17回大運動会。	
456	府立第四高等女学校校友会	3日	450	単	講話、運動	学校長の講話。運動練習会を実施し、普通体操、体育ダンス、徒競走を行う。	
457	府立第五高等女学校校友会体育部	5日	720	単	運動	体育大会を開催。体操、徒競走、巴鬼、綱引、バスケットボール、バレーボール、足切競争、走巾・高跳、リレーレース、職員レースなどを行う。	
458	府立第六高等女学校	3日	352	単	講話、遠足	10月29日に体育デーの講話。3日は遠足を実施し、徒歩で市川、国府台、柴又、押上を回り帰校。その他日常的に口腔検査、服装検査を実施。年4回鍛練的な遠足を実施。	
459	品川高等女学校	3日	500	単	批評会、講話、自強術、宣伝	10月30日に開催した運動会の批評会を実施。その後、体育に関する講話。午後は自強術の講演及び実技。午後は保証人の有志も参加。家庭に体育デーの趣旨を宣伝。	

1924年の第一回全国体育デーの活動状況に関する一考察

区分	番号	主催者	日時	参加人数	形態	実施内容	備考
その他 府立学校	460	小松川高等女学校	3日	436	単	運動会	当日は運動会を開催。10月31日に体育デーの準備として生徒に講話、家庭向けに趣意書を送付。11月1日には体育奨励のため明治神宮競技会を視覧。11月2日は体育宣伝のため、ポスターを複製して各自1枚以上を要所に貼り付けさせる。今秋は特に体育に留意し、以下の事項を行う。10月25日の第2回日本女子陸上競技選手権大会へ選手27名を派遣。10月26日の関東女子卓球選手権大会に選手8名を派遣。11月9日の第5回女学生庭球大会へ選手8名を派遣。11月16日運動大会を実施。
	461	府立第一商業学校	3日	903	単	運動	剣道、柔道、庭球、競技、ピンポン、角力、ラガーボール、ヴァレーボール、ランニング、デッドボール、フットボールを実施。創設以来、11月3日に運動競技会を実施し明治天皇の陰徳を忍ぶ。また明治神宮の参拝を実施。保護者に対しては生徒を通じて体育デーの講話を実施。競技会当日の参観を奨励。
	462	府立第二商業学校	—	120	単	競技大会	剣道大会（10月30日に実施）
			3日	150	単		柔道大会
			6日	240	単		競技
	463	府立実科工業学校	3日	303	単	講話、運動	二本博士の体育衛生講話。剣道、槍投、円盤投、走高跳を実施。
	464	府立織染学校	6日	244	単	講話、運動	午前中は校長の訓話、全生徒・職員による合同体操。綱引、その他の競技を実施。午後は自由運動。参加者は職員も含む。正午弁当は寄宿舎炊事二於テ作レル塩菖握飯ニ梅干、青物ヲ添ヘタルモノヲ職員、生徒、小使ニ至ルマデ円トナリモノヲ食シ運動ヲ一層盛ナラシム
	465	府立工芸学校	3日	330	単	運動	普通体操、競技、角力、撃剣。
	466	府立農蚕学校	3-5日	84	単	旅行	管外修学旅行。第2学年、3学年82名が参加。教員2名引率。伊勢内外宮、三重県、愛知県の工業業を見学。3日の体育デーは内宮と外宮間を徒歩で移動し、体育デーの趣旨を徹底。
			3日	34	単	旅行	管内修学旅行。第1学年32名を教員2名が引率。明治神宮参拝。神宮外苑の競技大会を見学。体育デーを周知し、当日を記念するため神宮裏から神宮外苑間を徒歩で移動。
	467	府立農林学校	5日	101	単	神社参拝競争	学校所在地ノ主ナル神社四社を参拝。
	468	府立園芸学校	3日	340	単	運動	武道、庭球、各種競技
	469	府立中野農業学校	3日	258	単	見学	明治神宮競技大会の見学。中野実業女学校も参加。
470	府立化学工業学校 (校友会)	—	134	単	競技大会	競技。ランニング、ローハードル、砲丸投、円盤投、槍投。5組に分けて実施。※生徒は競技、剣道、庭球、角力から1種目を選び参加。午前10時から3時まで。(10月31日に実施)	
			128			剣道。一番勝負・三人抜、五人抜、模範試合。(10月31日に実施)	
			48			庭球。12組を編成し、1組当たり2ゲームとする。(10月31日に実施)	
			80			角力。一番勝負・三人抜、五人抜、優勝試合(10月31日に実施)	

- 注1、「体育デーに関する件通牒」『学事学校衛生冊ノ二』（東京都公文書館：306.G8.2）を基に作成。
- 注2、番号は、史料中で個別団体として扱われているものを1団体としてカウントした。同一名称や関係する団体等であっても、史料中に個別に登場するものは、独立して扱った。反対に個別の学校であっても連名で記載されているものは連名ごとに1団体としている。
- 注3、団体の並び順及び名称は、簿冊に綴じられている順番と史料中の名称に従った。
- 注4、形態欄の「単」は単独開催を、「合」は合同開催を示す。形態についても史料中の区分に従った。
- 注5、実施内容については次のように分類した。  
 運動会：運動会、競技大会等の称が記載されている場合（既存の運動会を読み替えた可能性があるため別に扱う）。  
 運動：何らかの運動を実施した場合。複数の競技・遊戯等を実施し、運動会・競技大会の形態をとっていると推測されるものでも運動会等の名称がないものは運動に含めている。  
 競技大会：競技大会と記載されている場合、特定競技（剣道、柔道など）の競技大会を開催した旨が記載されている場合は競技大会とした。  
 宣伝活動：保護者・地域住民・児童生徒に対して何らかの宣伝活動をした場合。  
 講話：講話、訓話、講演会等を実施した場合。  
 また、これ以外に分類される場合は、その名称を記入した。なお、運動、競技大会、宣伝活動、講話の場合は、その具体的な内容を備考欄に記入した。
- 注6、史料の保存状態が悪く判読出来ない箇所は□で表記した。

注

- 1) この点については、拙稿「大正期における「虚弱児童」の教育問題化と「野外教育」『論叢：玉川大学教育学部紀要2011』2012年を参照。
- 2) 森川貞夫「大日本体育協会「組織改造問題」の一考察」『日本体育大学紀要』3号、1976年、11頁。
- 3) 岸野雄三、竹之下休蔵『近代日本学校体育史』日本図書センター、1983年、139頁。
- 4) たとえば川村英男『日本体育史』逍遙書院、1973年、155頁、今村嘉雄『日本体育史』不昧堂出版、509頁などにも体育デーの記載はあるが、1924年前後の一連の体育政策と一括りにされて、その実施年と名称のみが述べられるのみである。
- 5) 入江克己『昭和スポーツ史論』不昧堂出版、1991年、84-87頁。
- 6) 岸野、前掲書、140-141頁。
- 7) 入江、前掲書、86頁。
- 8) 坂上康博『権力装置としてのスポーツ』講談社、1998年、64-80頁、高嶋航『帝国日本とスポーツ』塙書房、2012年、130頁。
- 9) 文部大臣官房学校衛生課『大正十三年全国體育デー実施概況』1925年。体育デー実施後、学校衛生課は、体育デーの活動を記録した報告書を作成した。報告書の凡例に「茲に第一回全国体育デーに関する施設の概況を集録し、聊か国民体育の振興に資し、併せて年々挙行せらるべき国民体育デー実施の参考に供することとする」とあるように、同書には他の地域で模範となる実践例が記載されている。このため同省が「体育デー」においてどのような活動が実施されることを期待していたのか、その理想を読み取ることが可能であり、体育デーの特質を検討するうえで重要な史料といえる。
- 10) 「全国体育デーニ関スル件依頼」『学事学校衛生冊ノ二』（東京都公文書館：306.G8.2）。学校衛生課では、報告書の作成にあたり、全国の道府県に対し、活動状況の調査と報告をするように照会している。都公文書館の史料はこの報告のために、東京府が府内の各学校や関係団体に対し行った調査の結果が綴られており、地域においていかなる活動が実施されたのか、また、文部省の理想とする活動が、どの程度実際化されたのか、体育デーの実態をより詳細に把握するうえで、重要な文書と考える。
- 11) 「全国体育デー実施要項ニ依り其目的貫徹方」『学校衛生総規』（国立公文書館：本館-3A-032-07）
- 12) なお、同時期には文部省と関係の深い、全日本体操連盟により、11月3日に「全日本体操祭」が実施されるようになっており、このことが全国体育デーの終了と関係していると考えられる。この点については、同時期における文部省の体育政策全般を視野に入れた検討が必要となるため、別稿を用意する。
- 13) 前掲（国立公文書館：本館-3A-032-07）。
- 14) 同上。
- 15) 文部省『学校保健百年史』1973年、252頁。
- 16) 内務省では、同年8月に「文部省関係者」に体育デーと神宮競技大会を連携して実施したいと非公式に協力を依頼した（入江「前掲書」1991年、64-65頁）。一方、文部省の通牒や報告書では、神宮競技大会について全く触れられていないなど、文部省側には連携の意図が全くなかった事が窺える。
- 17) 「体育デーとは何ぞ」『教育時論』1415号、1924年10月5日、37頁。
- 18) 北豊吉『学校衛生概論』右文館、1920年、169頁。同様の主張は、北の『体育運動概論』（右文館1922年）でも、述べられており、この時期の北の体育についての理念を強く表すものと考えられる。
- 19) この点については、後の1926年3月に文部省が発した訓令第3号「体育運動ノ振興ニ関スル件」

において具体化した。同訓令では、「体育運動ヲ行フニ當リテハ、運動精神ノ發揚ヲ図リテ、徳性ノ涵養ニカメ、且身体ノ修練ヲ重ンスルコト」を示し、運動競技と精神修養の関係を明確化している。

- 20) 『内務省幹事提出行政調査会議案 三』（国立公文書館：本館-2A-36-460）。
- 21) 前掲（国立公文書館：本館-3A-032-07）。
- 22) 本稿で述べた運動競技の主管及び社会教育団体の主管については、後に行政調査会において審議され、最終的に文部省の主管とされている。なお、筆者は、これらの論争に着目しながら、体育デーの政策的特質を明らかにする別稿を準備中である。
- 23) 前掲（東京都公文書館：306.G8.2）。
- 24) 山本悠三『近代日本社会教育史論』下田出版、2003年、173頁。
- 25) 実施団体数及び後述する活動の種別及び実施数については、報告書における各活動の定義や実施団体数の計算方法が明確でないため確認が難しい。この点については、さらなる史料の収集を進めたい。
- 26) 文部省が報告書を作成した際の計算方法が異なると考えられるが、報告書では、各活動をどのように分類しカウントしたかが未記載のため確認が困難である。この点についても、さらなる資料の収集が必要と考える。

## A Study on the Activity Condition of the First “Health-Sports Day” in 1924

Hodaka NOGUCHI

### Abstract

The purpose of this study is investigate the actual situation by reviewing the activity condition of Health-Sports Day which was organized by Ministry of Education. There were 15,452 groups of the whole country participating in the first Health-Sports Day in 1924. It was a very large scale athletic festival. The Health-Sport Day was carried out under the background of power struggle between Ministry of Interior and Ministry of Education. Ministry of Interior aimed to popularize athletic sports, however, Ministry of Education claimed the ‘Taiikuka’ which was practiced the athletic sports with moral cultivation. Therefore the event of Health-Sports Day mainly advanced the athletic sports and the importance of ‘taiiku’ to local residents. The types of groups were the primary schools which had strong connectivity with local region and the local education communities. They aimed to popularized the thought of ‘taiiku’ to local residents. Ministry of Education aimed to incorporate these sports communities to the organizations which were managed by Ministry of Education. Therefore the Health-Sports Day was carried out by the schools managing by Ministry of Education, the education communities in every area and the residents. It was become to a organization to popularize the thought of ‘taiiku’.

**Keywords:** Health-Sports Day, Physical Promotion Policy, Health Division of Ministry of Education, Athletic Meeting of Meijijingu